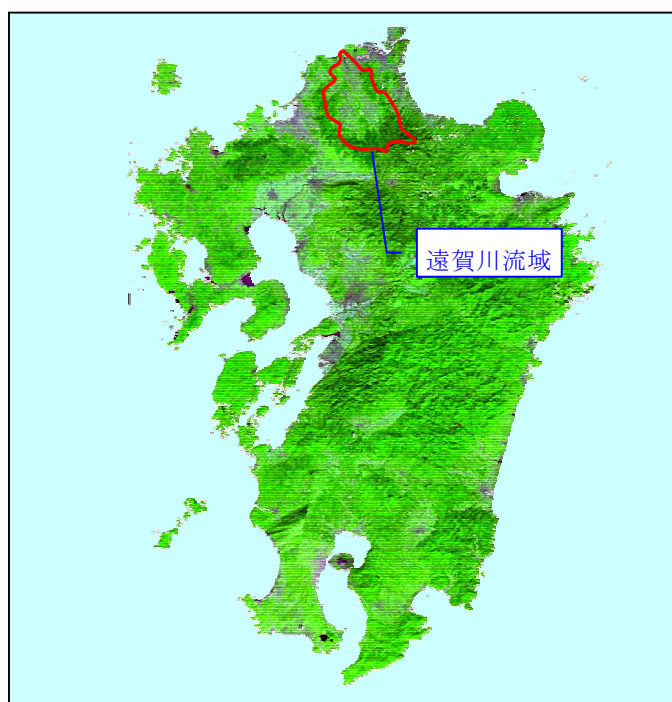


2. 流域及び河川の自然環境

2 - 1 . 流域の自然環境

遠賀川流域は、東を福智山地、南を英彦山山地、西を三郡山地に囲まれ、本川の源を甘木市、小石原村との境に位置する馬見山(標高 978m)山腹から発し、筑豊盆地を北上しながら途中で穂波川などの支川と合流後、直方市に流下する。ここで、大分県との境に聳える英彦山(標高 1200m)を源として田川盆地を貫流してきた彦山川と合流する。合流後、豊富な水量と広大な高水敷を併せ持ちながらゆったりと北上し、さらに犬鳴川などの支川を合わせながら北方向に流下し、芦屋町において三角州性平野を形成して響灘に注いでいる。



遠賀川流域を河川の特徴を考慮して図 2-1-1 のように上・中・下流域及び彦山川流域に区分する。

流域内には、2 つの国定公園と 3 つの県立自然公園が指定されている。東部は尺岳(608m)、福智山(901m)、香春岳(三ノ岳)(511m)と連なる北九州国定公園及び牛斬山(580m)から竜ヶ鼻(681m)へと連なる筑豊県立自然公園が指定されている。西部は笠置山(425m)、銚立山(663m)、三郡山(936m)と連なる大宰府県立自然公園が指定されている。南部は馬見山(978m)から古処山(860m)周辺が筑後川県立公園に指定される一方、彦山川源流の英彦山(1200m)、岳滅鬼山(1037m)、釈迦岳に連なる山々は修験道の山系として知られ、耶馬日田英彦山国定公園に指定されている。また、英彦山は県下でも屈指の動植物相を有し、峡谷や溪谷、断崖と周辺の自然林が織り成す他に類を見ない豊かな自然景観を誇っている。

遠賀川の流域は、上流から河口域まで比較的人手の入った環境となっており谷底平野から河口部の三角州性低地にいたる平野部には住宅地、商業地、農耕地が長大に存在し、昔からの自然環境は彦山川源流部など自然公園区域に多く残存している。

流域内の植生としては、本川上流域ではアカシデ・イヌシデ群落やミズバイ・スダジイ群集がモザイク状に分布するが、殆どはスギ・ヒノキ植林で覆われており、人為的な植生分布となっている。中・下流域では山地はスギ・ヒノキ植林、丘陵地は果樹園、平地は宅地、耕作地といった様に更に自然度は低下する。しかしながら、河辺にはヨシ、ツルヨシなどの湿性植物が広く分布しており、鳥類や小型哺乳類、魚類などの稀少な生息場となっている。一方、彦山川流域では源流域の英彦山頂部を中心にシラキ・ブナ群集やブナ・スズタケ群集などの自然植生が広く分布しており、ツマグロキチョウ、ブチサンショウウオなどの貴重な動物が数多く生息している。

また、流域の尾根筋を形成する自然公園区域では、福智山地などの山間部にはアカシデ・イヌシデ群落、コバノミツバツツジ・アカマツ群集などを交える森林があり、西部の三郡山地にはアカシデ・イヌシデ群落、アカガシ・ミヤマシキミ群集などが分布し、自然度の高い森林植生地帯を形成している。

このような環境の遠賀川流域では、ニホンジカやキツネ等の大型哺乳類は英彦山山地や福智山地などの山地に主に生息し、谷あいの平地には、タヌキ、イタチ、カヤネズミなど中型、小型の哺乳類が確認されている。

鳥類は遠賀川の河口域にカワウ、カンムリカイツブリ、中流域中ノ島などのヨシ原にオオヨシキリ、セッカなどを見ることができるとともに、河口域から中流域にかけてはミサゴ、ハヤブサなど、環境省や福岡県などで特定種に指定されている猛禽類の生息も確認されている。

魚類はコイ、フナ、ワタカ、ハス、オイカワ、カマツカ、カワムツ、ヨシノボリ等が生息し、上流の溪流や穏やかな流れの箇所にはヤマメが生息している。また、特定種として、中流域ではメダカ、ギギ、タナゴ類などが確認されている。

昆虫類はオオムラサキやツマグロキチョウなどの特定種が確認されているとともに、比較的水質の良い上流域にはゲンジボタルが生息する。

両生類は、支川上流にオオサンショウウオやブチサンショウウオなどの特定種が生息している。

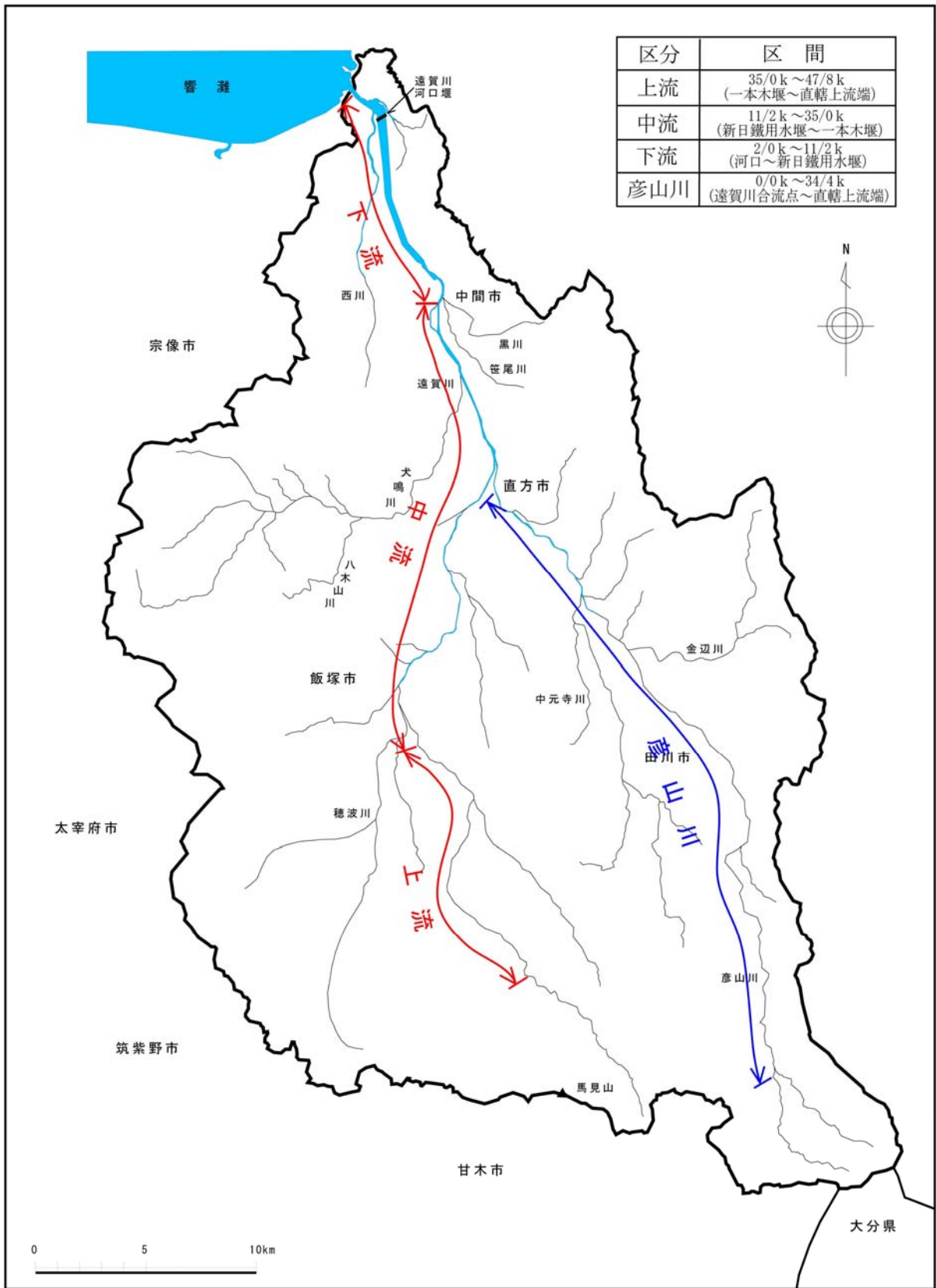


図 2-1-1 遠賀川水系区分説明

2 - 2 . 河川の自然環境 (1) 源流域及び上流域



源流（福岡県嘉穂町）

源流部の河川環境

遠賀川の源流をなす馬見山の山腹、海拔900m 余りにある高さ6m 程の小さな滝。ここから全長61km にわたる福岡県を代表する川の流れが始まる。

写真：遠賀川河川事務所

源流付近はスギ・ヒノキ・サワラ植林のほかアカシデ・イヌシデ群落やシイ・カシ萌芽林などの山林を中心とする山峡部で、露岩が見られるなど溪流環境の様相を呈した風景を見ることができる。

源流部を抜けると、一部の区間ではコナラ群落や自然植生のミミズバイ・スダジイ群落が見られるようになる。この付近には、昭和初期まで鮭が遡上していたと言われており、嘉穂町大隈にある鮭神社では神の使いとしての鮭への感謝と豊作を祝う献鮭祭が毎年催されている。現在は、「遠賀川にサケを呼び戻す会」が中心となって昭和61年より行われている稚魚放流により、毎年1尾程度ではあるが遡上が確認されている。

上流（福岡県嘉穂町）

上流部の河川環境

山間を抜けてすぐに扇状地状に耕作地が広がる。上流にも堰があり湛水している。堰下流には早瀬や砂洲が形成され、水辺にツルヨシ群落が繁茂する。

写真：遠賀川河川事務所





益富山の自然林（福岡県嘉穂町）

頂上から眼下に見る遠賀川流域とスダジイ林

中腹より上方は自然林が保存されており、優れたスダジイ林となっている。スダジイは胸高直径 20～70cm の大きさで、樹高はほとんどが 15～20m の高木となっており、植被率(その種類の植物が占める割合)は 100%で優占種のスダジイに混じって、コバンモチ、クスノキ、ヤブニッケイ、カゴノキ、クロキ、クロガネモチ、タブノキなどがみられ、亜高木層には、ミズバイ、スダジイ、シロダモ、ネズミモチ、カクレミノなど、低木層では、ヤブツバキ、アオキ、ヒサカキなどが多くみられる。

写真：遠賀川河川事務所

遠賀川の源流域では特定種のおオムラサキ、それより下流部には自然環境保全基礎調査の調査対象種であるゲンジボタルやハッチョウトンボなどが記録されている。

また、本川の右岸側上流域を構成する益富山にはスダジイ林の自然林が広がっている。45km付近には県内で嘉穂町でしか見られない浮葉植物のアサザが生育している。その他の地点ではカワヂシャやオオシシウドなどの特定種が確認されており、水辺にはツルヨシ、ヨシなどのヨシ原が砂礫洲を中心に多くの場所で見られる。

哺乳類では山間地においてニホンジカ、イノシシ、キツネなどの大型・中型哺乳類が、河原ではコウベモグラ、チョウセンイタチなどの小型哺乳類が主に生息している。

鳥類ではオオヨシキリやカワラヒワ、ホオジロなど河原のヨシ原や草地を好む鳥やカワセミやヒクイナなど水辺にすむ鳥などが確認されている。

魚類ではオイカワやイトモロコ、カマツカなどの代表的な種とともに特定種のスジシマドジョウ小型種点小型やメダカが確認されている。湛水域が多く、瀬を好む種の他に、緩流域や止水域に生息する種も多く見られる。

昆虫類では特定種で丘陵地や低山地の清流で見られるキイロヤマトンボや池沼や止水に生息するフトネクイハムシが確認されている。



アサザ(絶滅危惧 類、福岡県：絶滅危惧 A類)

リンドウ科。北海道を除いた各地の池や沼に生える、多年草の浮葉植物。川底の泥中を地下茎が横にはい、長い茎が水面に浮かぶ。6月から9月頃、対生する葉のわきに数本の花茎を出し、黄色の花を開く。

写真：遠賀川河川事務所

カワセミ

留鳥として日本各地に広く分布。水辺に生息し、主に魚類や水生昆虫などを捕らえる。繁殖期は3月から8月。土の崖などにトンネル状の穴を掘り、奥に卵を産む。一腹卵数はだいたい4個から6個。

写真：遠賀川河川事務所



オオシシウド

(福岡県：絶滅危惧 類)

セリ科。草丈 2m以上になる大型のセリ科高茎草本で、開花結実した株は枯れる一年生草本。種分布の主体は冷温帯にあり、山地の草地や崩落跡地等に生育する。北部九州では筑後川や遠賀川等平野部の河川に多く分布し、河川に依存した特殊な生育環境を選択する植物として注目される。

写真：遠賀川河川事務所

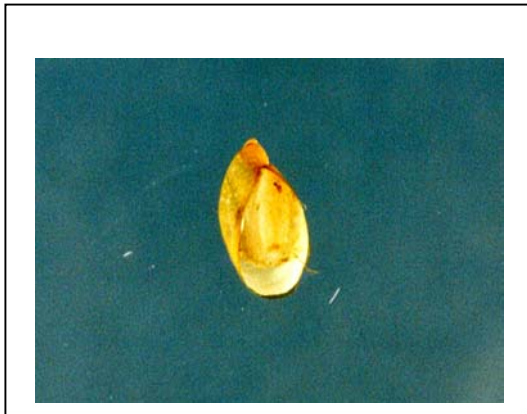


メダカ

(絶滅危惧 類、福岡県：準絶滅危惧)

平地の池沼、湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩やかなところに生息する。塩分に対する耐性も強く、汽水域にも生息する。プランクトンや昆虫を食べる雑食性である。産卵期は春から夏にかけてで、水草などに卵を産み付ける。

写真：遠賀川河川事務所



ナガオカモノアラガイ (準絶滅危惧)

本州関東以南から九州に分布し、水位の安定した細流やクリークなどに多く、水域の水際の葉上に生息する陸貝である。

写真：遠賀川河川事務所

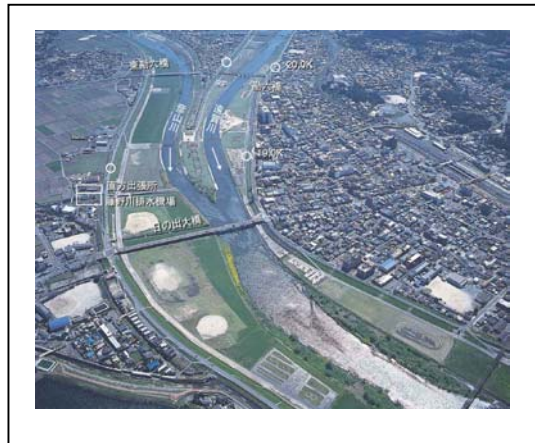
キイロヤマトンボ (絶滅危惧 類)

幼虫は河川の緩流部の砂底に生息し、砂底のくぼみに浅く潜って生活している。東海、近畿、中国地方を除いては分布が局所的であり、それは幼虫が好む底質の選択性が狭いことによると言われている。幼虫は河川周辺の樹林などに生息する。

写真：遠賀川河川事務所



(2) 中流域



遠賀川中流部（直方市）

写真：遠賀川河川事務所

飯塚市から中間市の中ノ島にいたる中流域は、谷底平野をゆっくりと流下してきた本川が、穂波川、彦山川、犬鳴川などの多くの支川を合わせつつ広大な開放水面と高水敷を持つ下流域へと向かう区間である。高水敷は広く採草地として利用されている場所が多いが、下流に近づくにつれ自然河岸も目立つようになりヨシ原や採草地ヨシも繁茂するようになる。

旧来型の低水護岸が施されている区間では湿性植物は後退しているが、それ以外の区間では、河岸から高水敷縁部にかけてヨシ、オギ群落帯が分布し、砂洲にはヨシ、ツルヨシなどの抽水植物が生育する。流路は上流側では緩やかに蛇行を繰り返す、所々に瀬、淵が見られるが、下流に行くに従い直線状になり、堰の湛水域が広がる。

また、中間市の中ノ島では、ヨシ・オギ群落、湿性植物群落、ヤナギ林、広葉樹林などの植生が豊かに生育しており、遠賀川水系の中で最も多様性のある水辺環境を呈している。



中ノ島（中間市）

中ノ島周辺の植生は遠賀川の典型的な河辺植生をとどめており、第2回自然環境保全基礎調査で、「遠賀川の河辺草本群落」として特定植物群落に選定されている

写真：遠賀川河川事務所

この区間では広大な高水敷に生育するオギ・ヨシ群落が特徴的で、カワジシャ、イヌゴマ、オオシシウド、タコノアシ、ホソバオグルマ、ミゾコウジュ、ヤガミスゲ、ウマスゲやアゼオトギリ等の数々の特定種が湿り気の多い草地一帯に見られる。

この広大なヨシ原や草地はそれを利用する鳥類の良好な生息場となっており、ツグミやムクドリのねぐら、オオヨシキリの繁殖地など多数確認されている。開放水面ではカワウ、カワセミやミサゴが採餌する様子が観察され、湿性植物が繁茂する水辺ではヒクイナがヨシの間を歩行する姿が見られる。

河川には環境省の特定種に指定されているカゼトゲタナゴやメダカ、バラタナゴ属、あるいは県の特種に指定されているギギ、カネヒラ、メダカ、ウナギが確認されているとともにオイカワやコイ、フナ類、カマツカ、ワタカ等の魚類が生息している。また、この水域にはブルーギルやオオクチバスの外来種も多く、現在のところ在来の地域個体種が消滅するような影響は発生していないが、今後の魚類相の動向に注視することになる。

昆虫類では、高水敷にはベニシジミ、モンシロチョウ、キタテハ、バッタ類など開けた草地に依存する種が多く、一方、イネ科やカツリグサ科の植物が繁茂する水辺ではトンボ類が多く環境省の特定種に指定されているキイロヤマトンボの生息も確認されている。河畔林や樹林が纏まって分布する中間市の中ノ島ではヒラタクワガタ、ノギリカミキリ、カナブンなど森林に依存する甲虫の他に県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されたコムラサキが確認されている。東部の北九州国定公園にむかって延びる支川沿いにはミカドアゲハなどの蝶類が記録されている。

哺乳類ではヨシ原などで球形の巣を作り生息するカヤネズミが多数確認され、また、河川敷の土表面にはコウベモグラのモグラ塚やイタチの糞がよく確認される。



ヤガミスゲ

(福岡県：絶滅危惧 B類)

カヤツリグサ科。湿地に生育する多年草で、匍匐をのばして繁茂するため、マット状の群落を形成する。スゲ類の中では脆弱な形質を持ち、高茎草本に対する競争力は弱いものと推定される。福岡県内では極稀。

写真：遠賀川河川事務所



オオヨシキリ
(福岡県：絶滅危惧 類)

九州以北に夏鳥として渡来し、ヨシ原で繁殖する。雄の早いものは、4 月末に飛来し、なわばりを宣言。ギョギョシ、ギョギョシとさえずる。ヨシ原の茎をからめて、外径 10cm ぐらいのお椀型の巣を作り、4 個から 6 個の卵を産み落とす。ヨシにつく昆虫類やクモ類を餌とする。

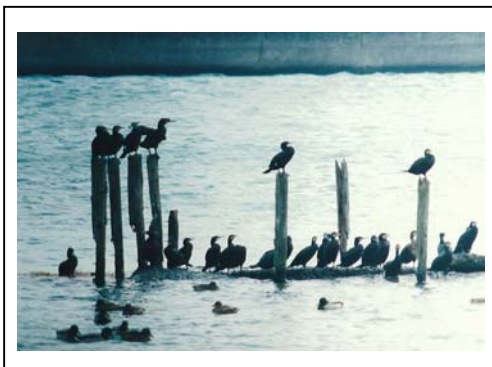
写真：遠賀川河川事務所

ガイ

(準絶滅危惧、絶滅危惧 類)

緩やかな流れのある河川や農業用水路、湖沼などの砂泥底に生息する。母貝の中で発生し幼生は魚類のタナゴ類・ヨシノボリ類などのえらやひれなどに寄生して生活する。

写真：遠賀川河川事務所



カワウ

ペリカン目ウ科に属する大型の水鳥。くちばしから尾の先まで 80cm 前後、体重は 1.5kg から 2.5kg。水辺近くの林などにねぐらやコロニーを作り、一日に 300g から 500g の魚を採餌する。

写真：遠賀川河川事務所

カヤネズミ

(福岡県：絶滅危惧)

九州では春～初夏(5～6月)と秋～初冬(9～12月)の年2回、1産5～6頭の子を産む。妊娠期間は17～19日。オギやススキなどのイネ科植物の茎に、それらの葉を巧みに編んで球形の巣(直径9～10cm)をつくる。

写真：カヤネズミの球巣 遠賀川河川事務所



(3) 下流部



遠賀川下流部
(水巻町、遠賀町上空より望む)

写真：遠賀川河川事務所

下流域では、中ノ島下部端付近から中間市、水巻町、遠賀町の沖積平野を悠々と歩むように流れ、遠賀河口堰を経て汽水域となり芦屋町で支川の西川、江川と合流後、響き灘に流れこむ。河口堰上流の水域は湛水域のため、満々と水を貯えており、ボート釣りや水上スポーツ、また河岸からの釣りなど水面利用が活発な水域である。また、高水敷も広大で、グラウンド、広場やサイクリングロードなどが整備され、休日には多くの人が散歩、ジョギング、スポーツなどで憩う姿が見られる。反面、こうした高水敷の人的利用や低水護岸の敷設、水際の直線化により、本来の下流域のもつ広大なヨシ原、大きな蛇行と砂洲、中洲の形成、湿地帯や砂浜、干潟など下流、河口特有の河川環境には乏しい。多自然型川づくりの導入により、自然景観に近づきつつある場所もあるが、全体的に人為性が濃く、単調な河川環境となっている。

遠賀川河口部
(芦屋町 河口部より上流を望む)

写真：遠賀川河川事務所



河口堰から上流の湛水域では、河岸は護岸整備により湿性植物が群落を形成する場所が限られている。高水敷は公園化、緑地化されており、人為植生である荒地雑草群落が広く分布している。しかしながら、左岸 10k 付近などに残された自然河岸には在来のヨシやオギなどが湿性高茎群落を形成しており、高水敷の湿性地や河川側縁部などにも一部生育し、ヨシ原を生息場とする鳥類や小動物の希少なハビタットとなっている。こうしたヨシやオギが群生する草地には、環境省や福岡県で特定種に指定されているカワヂシャやイヌゴマ、オオシシウドなどが生育している。河口域では本来シバナ、ウラギク、ハママツナ、ヨシ、アイアシなどの塩生植物が群落を形成していたが、現在は護岸の整備などにより、低位の砂浜や江川との合流部付近の干潟など一部に分布する。わずかな干潟、砂浜には環境省や福岡県で特定種に指定されているハマサジやハマボウが生育している。

残された干潟、砂浜は底生動物にとっても希少な生息場であり、ハマガニや福岡県で特定種に指定されているマゴコロガイ、ベンケイガニが生息している。

遠賀川河口堰の湛水域は鳥類の採餌場や休息場となっており、冬の渡りの季節には多くのカモ類やカモメ類が集まってくる。ここでは、カンムリカイツブリ、カワウそして猛禽類のミサゴが盛んに魚を捕食している。また、河口域では干潮時の干潟がシギ・チドリ類などの採餌場となっており、時には環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されている猛禽類のハヤブサが飛翔するところを観察することができる。

魚類では、河口域に汽水性のヒイラギやシマイサキなどの汽水魚が生息しており、河口堰より上流の淡水域には福岡県レッドデータブック準絶滅危惧に指定されているカネヒラやヤリタナゴなどが生息している。特徴的なのは下流から中流域にかけてワタカが生息していることで、本来琵琶湖淀川水系の固有種であるが当地域には移植され定着しており、数多く確認されている。福岡県レッドデータブックで天然不明に指定されているアユも確認され、魚道の設置が進むにつれ上流に遡上する数も徐々に増えることが期待される。

哺乳類では、河川敷にハツカネズミ、イタチなどの小型哺乳類が生息しているが、ヨシ原が小さく河畔林がない高水敷では、比較的大型の哺乳類が隠れたり、生息するには困難でその姿は殆ど見られない。

ハマサジ
(絶滅危惧 類、福岡県：絶滅危惧 類)

本州から九州の海岸の湿地に生える二年草。
葉が匙ににているのが名前の由来。

写真：遠賀川河川事務所



ベンケイガニ
(福岡県：絶滅危惧)

東京湾以南の各地に分布する。河口部の干潟後背地の土手や湿地、草原、水田などに生息して、土や石の下などに巣穴を掘る。繁殖期は7月から9月頃。

写真：遠賀川河川事務所

マゴコロガイ
(福岡県：絶滅危惧)

九州の内湾および瀬戸内海に分布する。
内湾の潮間帯の砂泥底に深い巣穴を掘るアナジャコの腹面に足糸で付着する。殻長 13mm, 殻高 6mm 程度と小型、イガイ形で薄質。

写真：アナジャコに付着するマゴコロガイ
遠賀川河川事務所





ミゾコウシュ
(準絶滅危惧)

河川や池沼等の半湿地性に生育する越年草で、ロゼット葉で越冬する。先駆性の強い種で、安定した自然植生内には生育できず、裸地や明るい開放地を好み、生育場所は短期間で浮動する場合が多い。

写真：遠賀川河川事務所

アユ

(福岡県：天然不明)

春から秋にかけて、主として川の中流域で生活するが、秋に孵化した仔魚は海に下り、翌春までの仔稚魚期を海で送った後、遡上する。

写真：遠賀川河川事務所



カネヒラ

(福岡県：準絶滅危惧)

平野部の細流や灌漑用水路などの流れのやや緩やかな処や池沼に生息する。産卵の盛期は秋で、イシガイなどの二枚貝に産卵する。

写真：遠賀川河川事務所



(4) 彦山川流域



**彦山川上流
(源流付近)**

写真：遠賀川河川事務所

源流付近は、シラキ・ブナ群集、モミ・シキミ群集、アカガシ・ミヤマシキミ群集、アカマツ群落からなる自然植生で覆われており、一帯は耶馬日田英彦山国定公園に指定されている。深倉峡に代表される峡谷には大小さまざまな奇石が林立しており、秋の紅葉など四季に富んだ自然環境が観光客を集めている。

彦山川の上流から中流にかけては一気に流下しており、せせらぎを楽しむことができ、また、下流の広い高水敷は採草地として利用されている。



彦山川 (大任町上空より望む)

写真：遠賀川河川事務所

彦山川の源流域では特に昆虫類の宝庫となっており、第2回自然環境保全基礎調査で指標種であるムカントンボ、ムカシヤンマ、環境省や県で特定種に指定されるオオムラサキやハルゼミなど多数の種が記録されている。両生類では第2回自然環境保全基礎調査で重要種として選定されたカスミサンショウウオやブチサンショウウオの生息も記録されている。また、英彦山の自然林、障子岳のヒノキ林など貴重な群落が多数存在している。

上流域ではコムラサキ、ミヤマセセリやツマグロキチョウなどの貴重なチョウ類が多数確認されている。また山地に飛来する特定種、サンコウチョウやヤマセミ、カワセミなどの鳥類が確認されている。

魚類では、スナヤツメやオヤニラミなどが、底生動物ではトゲナシヌマエビやヒラマキミズマイマイが、両生類ではイモリやトノサマガエルが確認されている。

中流から下流域ではカワヂシャ、コイヌガラシ、イヌゴマやミゾコウジュなど本川の下・中流域に生育している種が確認されている。鳥類では、ミサゴ、オオタカなどの猛禽類とともに、タゲリ、カワウなどが確認されている。

魚類ではカワムツ、オイカワ、カマツカといった代表的な魚類のほかに、県の特定種に指定されているギギやアユなどが確認されている。



オヤニラミ

(準絶滅危惧、福岡県：準絶滅危惧)

鰓ふたの後方に、ほぼ眼と同じ大きさの藍色の斑紋がある。産卵場所は抽水植物の生育する流れの緩やかな河岸で、産卵が終わると、雄は雌を追い払い、胸鰭で卵に新鮮な水を送ったり、死卵を口で取り除いたりして卵を保護する。ムギツクの託卵を受けることでも知られている。

写真：遠賀川河川事務所

カワヂシャ

(準絶滅危惧、福岡県：準絶滅危惧)

ため池、河川、水路の土砂が堆積するような場所に生育する。越年草で、生育環境によって沈水～抽水～湿生として生育する。茎は円く、枝分かれして直立する。高さ10～50cm。葉はわずかに茎を抱く。干上がった湿地では、ロゼット状にはりつく。

写真：遠賀川河川事務所



コイヌガラシ

(準絶滅危惧、福岡県：絶滅危惧 類)

河川の湿地に、パッチ状に点々と群生する。一年草。茎は下部から分枝し無毛。高さ10～30cm。葉は羽状深裂，基部は耳状に茎を抱く。葉腋に0.5mmの柄のついた円柱形の果実がつく。

写真：遠賀川河川事務所





イヌゴマ

(福岡県：絶滅危惧 A類)

湿地や河川の土手等の肥沃な砂泥地に生育する多年草で、細い地下茎を引いて群生する。やや軟弱な植物で、草刈り等の緩やかな攪乱には耐性があるが、大型植物による被圧や生育環境の変化には弱い。

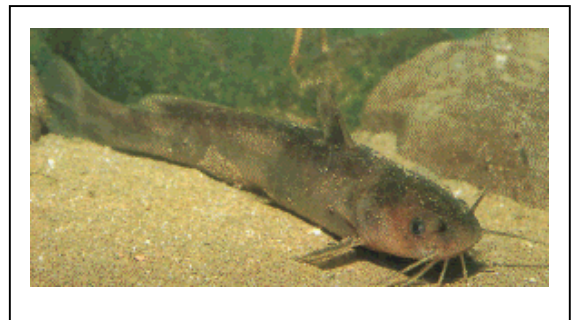
写真：遠賀川河川事務所

ギギ

(福岡県：絶滅危惧 B類)

昼間は石の下やヨシ場に潜み、主に夜間に活動摂餌する。雑食性であるが、底生動物や小魚を主に食べている。産卵期は5月から8月で、石の下やその隙間に産卵する。

写真：遠賀川河川事務所



コムラサキ

(福岡県：絶滅危惧 類)

九州以北に分布。ヤナギ類が食樹。クヌギやヤナギなどの樹液を吸汁する。吸水性が強い。

写真：遠賀川河川事務所



(5) 遠賀川生物

各種資料をもとに、遠賀川沿いの各生物相についての概要を整理し、表 2-2-0 に示す。

表 2-2-0 各生物相の概要

調査項目	生物相の概要
植物	<ul style="list-style-type: none"> 上流域ではアカシデ・イヌシデ群落やミズバネ・イヌシデ群落がモザイク状に分布するが、ほとんどはスギ・ヒノキ植林で覆われている。また、緩流部では特定種のアサザが生育している。 上流から中流域では本川沿いにヨシ・ツルヨシ群落やオギ群落が生育している。 特に中流域下部では高水敷や水際で分布する抽水から湿生植物群落等の川辺植生が注目される。カワヂシャやミノコウジュをはじめヤガミスケなどのスゲ類、アゼオトギリ、イヌゴマなど数々の特定種が生育している。 下流域の広大な河川敷にはオギ・ヨシ群落が多く、カワヂシャやミノコウジュ等が確認されている。 河口域ではハマサジやハマボウ等の塩生植物が自生している。 支川彦山川の上流域ではアラカシ群落やオニグルミ群落等の高木が分布している。中流域から下流域にかけては、ツルヨシ・ヨシ群落が生育している。
哺乳類	<ul style="list-style-type: none"> 上流域では、タヌキやキツネ等、大型の哺乳類が生息している。 中流域の河川敷にはタネズミやカヤネズミ等の小型齧歯類とコウバモグラやテン等の中型齧歯類が生息している。 下流域ではイタチ属の一種やハツカネズミが生息している。 支川彦山川でもカヤネズミやイタチ属の一種が生息している。
両生類 爬虫類	<ul style="list-style-type: none"> 上流から下流域では、ウシガエルやヌマガエルが生息している。 中流域下部の広い草地には、ネズミ類を捕食するジムグリが生息している。 支川彦山川では、カジガエルが、また、トノサマガエル等の特定種が確認されている。
鳥類	<ul style="list-style-type: none"> 上流域ではカワセミ等、溪流沿いに生息する種が確認されている。 中流域ではツグミやムクドリのほか、オオヨシキリの繁殖地など多数確認されている。また、ミサゴやハヤブサ等の猛禽類が確認されている。 下流域でもミサゴやハヤブサ等の猛禽類が生息しており、ウミネコや特定種のカムリカイツブリが確認されている。 支川彦山川の河川沿いではヤマセミやカワセミが生息しており、下流域ではミサゴ等の猛禽類が確認されている。
魚類	<ul style="list-style-type: none"> 上流から中流域にかけては県の特定種に指定されているギギをはじめ、オイカワやカマツカ等が生息している。 中流域ではカゼトゲタナゴなどのタナゴ類やメダカ、回遊魚のウナギやアユが生息している。 下流域ではワタカの生息が特徴的であり、特定種としてメダカやヤリタナゴ等が確認されている。 支川彦山川ではカラムシ B 型が生息しているとともにオヤニラミが確認されている。
底生動物	<ul style="list-style-type: none"> 上流から中流域では、ナガオカモアライガイやモアライガイなど貝類の特定種が確認されている。 中流域ではそのほかにもクルマヒラマキガイ(レンズヒラマキガイ)、トンガリササノハガイ、マルタニシなどの特定種が確認され、貝類が数多く生息している。 河口域ではベンケイガイやマゴコロガイが確認されている。 支川彦山川ではトゲナシヌマエビやヒラマキミズマイマイが確認されている。
昆虫類	<ul style="list-style-type: none"> 上流域ではフトクイハムシやセマルケシマゲンコガネが確認されている。 中流域ではコムラサキ等のチョウ類とともに、アオヘリホノゴミシやチャイロカメムシ等の貴重な甲虫類が確認されている。 支川彦山川の上流域はコムラサキやツマグロキチョウなどのチョウ類の他、昆虫類の宝庫となっている。また、ゲンジボタルが確認されている。

以上の生物相についての詳細を各流域ごとに整理し、以下に記載する。

また、遠賀川の自然環境を把握するために、各種文献等のデータを踏まえ遠賀川に生息する特定種についてとりまとめた。

特定種:国・県・市町指定による天然記念物

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(別名:種の保存法)

環境庁 レッドリスト

環境庁 レッドデータブック

福岡県版 レッドデータブック

水産庁 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック

環境庁 自然環境保全基礎調査

上記の資料の掲載種及び、貴重または保護すべき種として指定されている種

表 2-2-1(1) 特定種カテゴリーの説明

分類	内容
天	「文化財保護法」により保護等の対象として指定されている種
種	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（通称：種の保存法）」で指定されている種
環	<p>「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（環境庁編）」及び「日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - （環境庁編）」の指定種</p> <p>CR：絶滅危惧 A類 （Critically Endangered：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）</p> <p>EN：絶滅危惧 B類 Endangered：IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種）</p> <p>VU：絶滅危惧 類 （Vulnerable：絶滅の危機が増大している種）</p> <p>NT：準絶滅危惧 （Near Threatened：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）</p> <p>DD：情報不足 （Data Deficient：評価するだけの情報が不足している種）</p> <p>LP：絶滅のおそれのある地域個体群 （Threatened Local Population：地域的に孤立しており地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）</p>
群落	<p>「植物群落 レッドデータブック〔（財）日本自然保護協会、（財）世界自然保護基金日本委員会〕」の指定種</p> <p>ランク4：緊急に対策必要 緊急に対策を講じなければ、群落が壊滅する</p> <p>ランク3：対策必要 対策を講じなければ、群落の状態が徐々に悪化する</p> <p>ランク2：破壊の危惧 現在の保護対策は良いが、対策を講じなければ、将来破壊されるおそれ大きい</p> <p>ランク1：要注意 当面、新たな保護対策は必要ない</p>
県	<p>「福岡県版レッドデータブック 福岡県の希少野生生物」の指定種</p> <p>絶滅：絶滅 すでに絶滅したと考えられる種</p> <p>危惧：絶滅危惧 絶滅のおそれのある種 ：絶滅危惧 類 絶滅の危機に瀕している種</p> <p>A：絶滅危惧 A類 ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種</p> <p>B：絶滅危惧 B類 IAほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種 ：絶滅危惧 類 絶滅の危険が増大している種</p> <p>準：準絶滅危惧 絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては、上記ランクのいずれかに移行する可能性のある種</p> <p>不足：情報不足 条件によっては絶滅の恐れのある状態に移行し得る属性を持つが、生息状況等の情報が得られていない種</p> <p>不明：天然不明 本来天然分布が認められた水域で更に放流や移植が行われ、遺伝子の攪乱が予測される種</p> <p>依存：保全対策依存 現在保全対策が継続実施されているが、その保全策が中止された場合に、絶滅の恐れのある状態に移行する可能性のある種</p>

表 2-2-2(2) 特定種カテゴリーの説明

分類	内容
県	<p>類：緊急に対策必要 緊急に対策を講じなければ群落が壊滅する ～ 類 類と 類の間にあるもの 類：対策必要 対策を講じなければ群落の状態が徐々に悪化する 類：破壊の危惧 現在は保護対策が功を奏しているが、将来は破壊の危惧が大きい 類：要注意 当面、新たな対策は必要ない(監視必要) 類に付け加えて群落状態総合ランクとして A：優れる、B：やや優れる、C：普通、D：やや劣る、E：劣る</p>
水	<p>「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック(2000年3月、水産庁)」の指定種 絶滅危惧：絶滅の危機に瀕している種・亜種（環境庁カテゴリーに準ずる） 危急種：絶滅の危険が増大している種・亜種（環境庁カテゴリーに準ずる） 希少種：存続基盤が脆弱な種・亜種（環境庁カテゴリーに準ずる） 減少種：明らかに減少しているもの 減少傾向：長期的にみて減少しつつあるもの 普通：自然変動の範囲にあるもの 地域個体群：保護に留意すべき地域個体（環境庁カテゴリーに準ずる）</p>
自	<p>「第2回自然環境保全基礎調査 福岡県自然環境情報図（環境庁 1981）」 「第3回自然環境保全基礎調査 福岡県自然環境情報図（環境庁 1989）」 「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 九州版」 「第4回自然環境保全基礎調査 福岡県自然環境情報図（環境庁 1995）」</p> <p>A：原生林もしくはそれに近い自然林 B：国内若干地域に分布するが、極めてまれな植物群落 または個体群 C：比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等、分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群 D：砂丘、断崖、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群 E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの F：過去に置いて人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採の手が入っていないもの G：乱獲その他の人為的な影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群 H：その他、学術上重要な植物群落または個体群</p> <p>A：日本国内ではそこにしか産しないと思われる種 B：分布域が国内若干の地域に限定されている種 C：普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとと思われる産地に分布する種 D：当該地域において絶滅の危機に瀕している種 E：近年当該地域において絶滅したと考えられる種 F：業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配される種 G：環境指標として適当であると考えられる種 指：指標種</p>
巨	<p>「第4回自然環境保全基礎調査」日本の巨樹・巨木林 九州・沖縄版（環境庁 1991）</p>

1) 遠賀川に生育する重要な植物種

遠賀川に生育する重要な植物群落及び植物は、次表の特定種一覧表に示すとおりである。
 特定種は植物群落で 24 種、植物種で 214 種確認されている。なお、表中の資料番号は、後掲の表 2-2-11 を参照されたい。

表 2-2-3(1) 遠賀川で確認された植物群落の特定種一覧表

種名	貴重種区分					所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	自			
水巻町鷹見神社のムクノキ林			1		F	水巻村 高見神社	4、10、13	
八所宮のスダジイ林			1		E	八幡西区野面	4、10、13	北九州都市計画区域中の緑地保全地区に指定されている
遠賀川河辺草本群落			3	ⅡC	D	中間市下大隈	2、4、10、13	
直方のオニバス群落					B	直方市植木	2、4、10	
笠置山のエノキを含む照葉樹林			2		E	飯塚市 笠置山	4、10、13	太宰府県立自然公園
障子ヶ岳のヒノキ林			2		C	添田町	2、4、10、13	耶馬日田英彦山国定公園第三種特別地域、水源かん養保安林
英彦山の自然林			1		A・F・G・H	添田町	2、4、10、13	耶馬日田英彦山国定公園特別保護地区・第一種特別地域、水源かん養保安林、学術参考保護林(一部)
大法山のスダジイ林			2		E	山田市	2、4、10、13	
益富山のスダジイ林			2		E	嘉穂町	2、4、10、13	
香春岳のイワシデ林			3		B・D・H	香春町	2、4、10、13	筑豊県立自然公園
香春岳の自然林				I A		香春町	9	環境庁特定植物群落, 筑豊県立自然公園普通地域(二ノ岳, 三ノ岳)
香春岳のアラカシ群落			1	ⅡB		香春町	9	(D・E) 筑豊県立自然公園普通地域
香春岳のウラジロガシ群落			2	ⅡB		香春町	9	(D・E), 筑豊県立自然公園普通地域
香春岳のススキ・ネザサ群落			4	ⅡB		香春町	9	(E) 筑豊県立自然公園普通地域
竜ヶ鼻のケヤキ群集			1	ⅢB		香春町	9	環境庁特定植物群落(A・D・H), 筑豊県立自然公園普通地域
竜ヶ鼻の自然林			2	ⅢA	A・B・D・G・H	香春町	2、4、9、10、13	環境庁特定植物群落, 筑豊県立自然公園普通地域、イワシデ群落(B・D・H)、ケヤキ群落(A・G・H)、カヤ群落(B・D・H)、アカガシ群落(B・D・H)
福智山のケヤキ林			1		G・H	小倉南区	10、13	北九州国定公園第三種特別地域、水源かん養保安林
福智山の自然林			2		E・H	小倉南区	10、13、4	北九州国定公園第一種、第二種、第三種特別地域、水源かん養保安林
三郡・宝満山の自然林			2	Ⅲ	A・E・G・H	宇美町など	2、4、9、13	ブナ群落(A), モミ群落(A), アカガシ群落(E), ツクシヤクナゲ個体群, ケヤキ群落

表 2-2-3(2) 遠賀川で確認された植物群落の特定種一覧表

種名	貴重種区分					所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	自			
上野峡のゲンカイツツジ群落			3		B・D・H	赤池町	4、10、13	北九州国定公園
岩石山のスダジイ林			2		F・H	田川郡赤村	4、10、13	
スダジイ群落			3	III		山田市、嘉穂町など	9	
山田市白馬山のムクロジ林(ムクロジ群落)			1	IV	B・H	山田市	4、9、13	
三郡・宝満山の自然林(アカガシ群落)			2	III		筑穂町	9、13	環境庁特定植物群落(A・E・G・H)

表 2-2-4(1) 遠賀川で確認された植物の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	自	巨			
アオホオズキ		DD		IA			添田町	9	
アカウキクサ		VU		IA			遠賀川中流域、彦山川	9、11	
アカネスゲ		VU		IA			田川市	9	
アギナシ		NT		IA			嘉穂町	9	
アケボノスミレ				IA			添田町	9	
アサザ		VU		IA			遠賀川上流域(嘉穂町)	9、11	
アゼオトギリ		EN		IA			遠賀川中流域	9、11	
アワガエリ				不足			遠賀川中流域(飯塚市)	9、11	
イガホオズキ				IB			香春町、添田町	9	
イチイ				IA			添田町	9	
イチイガシ	県					○	添田町	6、7	呼称:諏訪神社のイチイガシ
イチョウ	県						直方市	6	呼称:花の木塚の大公孫樹
イチョウ	県					○	直方市	6、7	呼称:多賀神社の黄玉樹
イチョウ	県					○	水巻町	6、7	呼称:立屋敷の大イチョウ
イチョウ	町					○	岡垣町 原	6、7	
イチョウ	県						香春町	6	呼称:神宮院の大銀杏
イチョウシダ				IB			香春町	9	
イナモリソウ				II			添田町	9	
イヌゴマ				IA			遠賀川中流域、犬鳴川、金辺川、彦山川、中元寺	11	
イヌフグリ		VU		IB			川崎町、	9	
イヌハギ		VU		IB			香春町、彦山川(添田町)	9、11	
イブキシモチ				準			香春町	9	
イワガサ				II			添田町	9	
イワシデ				準			香春町	9	

表 2-2-4(2) 遠賀川で確認された植物の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	自	巨			
イワツクバネウツギ		VU		IB			香春町	9	
イワデンダ				IA			添田町	9	
ウシオツメクサ				不足			西川(遠賀町、芦屋町)	9、11	
ウチョウラン		VU		IA			添田町	9	
ウドカズラ				IA			筑穂町	9	
ウマスゲ				不足			遠賀川中流域	9、11	
ウメバチソウ				II			飯塚市	9	
ウンゼンマンネングサ		VU		II			添田町	9	
ウンヌケ		VU		EX			添田町	9	
エンシュウツリフネソウ				IA			添田町	9	
オオキヌタソウ				IB			添田町	9	
オオシシウド				II			遠賀川下流～上流域、彦 山川、犬鳴川、黒川	9、11	
オオバアサガラ				IB			添田町	9	
オオバシナミズニラ		EN		IA			宮田町、穂波町	9	
オオベニウツギ		CR		IA			嘉穂町	9	
オオヤマレゲ				IA			添田町	9	
オオルリソウ				IB			田川市	9	
オオレンシダ				IA			嘉穂町	9	
オキナグサ		VU		IB			田川市	9	
オサシダ				IB			添田町	9	
オシャグジデンダ				IB			添田町	9	
オトコシダ				IB			宮田町、筑穂町、添田町	9	
オニコナスビ				IB			添田町	9	
オニシバリ				II			香春町	9	
カキツバタ		VU					遠賀川中流域	11	
カセンソウ				II			香春町	9	
カツラ	国					○	飯塚市	1、7	呼称: 鎮西 村のカツラ
カリガネソウ				IA			筑穂町	9	
カワヂシャ		NT		準			遠賀川水系	9、11	
カンラン		CR		IA			筑穂町	9	
キエビネ		EN		IA			筑穂町	9	
キキョウ		VU		II			香春町	9	
キセワタ		VU		II			香春町、田川市、飯塚市	9	
キドイノモトソウ		VU		IA			香春町、田川市	9	
キビノクロウメモドキ		VU		II			香春町	9	
キンモウワラビ		VU		IA			香春町	9	
キンラン		VU		II			金田町、添田町	9	
クサヤツデ				IB			嘉穂町、添田町	9	
クスノキ	県					○	筑穂町	6、7	呼称: 大 分八幡宮 の大樟
クスノキ	県					○	香春町	6、7	呼称: 元 光願寺の 大樟
クロフネサイシン		VU		II			添田町	9	
クロヤツシロラン		EN		IA			香春町	9	

表 2-2-4(3) 遠賀川で確認された植物の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	自	巨			
ゲンカイツツジ		VU		準			添田町	9	
ケンボナシ				IB			香春町、川崎町	9	
コイヌガラシ		NT		II			彦山川、金辺川	9、11	
コウホネ				II			川崎町	9	
コウラボシ				IA			宮田町	9	
コガマ				IB			金田町、川崎町	9	
コギシギシ		VU		II			水巻町	9	
コクモウクジャク				IA			宮田町	9	
コケシノブ				IA			添田町	9	
コミヤマカタバミ				II			添田町	9	
ゴヨウマツ				IA			添田町	9	
サギソウ		VU		IA			嘉穂町	9	
サルメンエビネ		EN		IA			添田町	9	
サワギキョウ				II			嘉穂町	9	
サワトランオ		EN		IA			香春町	9	
サンショウモ		VU		IA			宮田町	9	
シオン		VU		不足			彦山川	9、11	
シコクスミレ				II			添田町	9	
シナミズニラ		EN		IA			穂波町	9	
シモツケソウ		EN		IB			添田町	9	
シライトソウ				II			飯塚市	9	
シラン		NT		準			金辺川(田川市)	9、11	
シロバナハンショウヅル				準			香春町	9	
スギ	国					○	添田町	1、6、7	呼称:英彦山の鬼スギ
スギ	県					○	添田町	6、7	呼称:泉蔵坊杉
スギラン		EN		IA			添田町	9	
スジヌマハリイ		VU		IB			遠賀町	9	
スズサイコ		VU		II			香春町、金田町、飯塚市	9	
スズムシバナ				II			嘉穂町、添田町	9	
セッコク				II			添田町	9	
センダイソウ		VU		IA			添田町	9	
ソテツ	県						芦屋町	6	呼称:千光院大蘇鉄
ソテツ	町						岡垣町 波津	6	下部幹折れにより支柱を設置
ソバナ				IA			添田町	9	
タカサゴソウ		VU		II			香春町	9	
タコノアシ		VU		II			遠賀川中流域	9、11	
タチデンド				IB			香春町	9	
タチヒカゲミズ		EN		IA			添田町	9	
タマガワホトトギス				II			添田町	9	
ツクシガシワ				II			嘉穂町、添田町	9	
ツクシカンガレイ				IB			穂波町	9	
ツクシタンポポ		EN		IB			香春町、添田町	9	

表 2-2-4(4) 遠賀川で確認された植物の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	自	巨			
ビロードスゲ				不足			遠賀川中流域、穂波川、 中元寺川	9、11	
ヒロハテンナンショウ				IA			筑徳町、添田町	9	
ヒロハトラノオ				IA			添田町	9	
ヒロハナライシダ				IA			添田町	9	
ビワ	県						香春町	6	呼称:神 宮院の石 割枇杷
フウリンウメモドキ				IB			添田町	9	
フガクスズムシソウ		EN		IA			添田町	9	
フジ	県						方城町	6	呼称:定 禪寺の藤
フクオウソウ				II			添田町	9	
フタバアオイ				IB			添田町	9	
ブッポウソウ	県						添田町	6	呼称:英彦 山のブッポ ウソウ
フトヒルムシロ				IB			嘉徳町	9	
フナバラソウ				II			香春町、金田町、田川市	9	
ボウラン		NT		II			嘉徳町、添田町	9	
ホオノカワシダ				IA			筑徳町	9	
ホシクサ				IA			田川市、添田町	9	
ホソバオグルマ				IB			遠賀川中流～上流域、中 元寺川	9、11	
ホソバナコバイモ		VU		II			添田町	9	
ホソバママコナ		EN		絶滅			香春町	9	
ボダイジュ	県						川崎町	6	呼称:光 蓮寺の菩 提樹
ホツツジ				IA			添田町	9	
ホルトノキ	県					○	香春町	6、7	呼称:五徳 ホルトの木
マツグミ				IA			添田町	9	
マツムシソウ				絶滅			添田町	9	
マネキグサ		VU		II			香春町	9	
マメヅタラン		VU		II			添田町	9	
マルミスブタ		VU		IA			添田町	9	
ミカワタヌキモ(イトタヌキモ)				IA			嘉徳町	9	
ミクリ		NT		IA			金辺川(田川市)	9、11	
ミシマサイコ		VU		II			香春町、田川市	9	
ミズオオバコ				IB			穂波町、添田町	9	
ミズトラノオ		VU		IA			穂波町	9	
ミズネコノオ		VU		IA			宮田町	9	
ミズマツバ		VU					彦山川	11	
ミスミソウ		NT		IA			添田町	9	
ミゾコウジュ		NT		準			遠賀川水系	9、11	
ミゾシダモドキ				IA			添田町	9	
ミツバテンナンショウ				準			添田町	9	
ミツバベンケイソウ				IB			香春町	9	

表 2-2-4(5) 遠賀川で確認された植物の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	自	巨			
ミヤコミズ		VU		II			香春町	9	
ミヤマイラクサ				IB			香春町	9	
ミヤマカラマツ				IA			添田町	9	
ムラサキ		EN		IB			香春町、田川市	9	
ムラサキセンブリ		VU		II			香春町、金田町、田川市、庄内町、飯塚市	9	
ムラサキベニシダ				IA			筑穂町	9	
ムラサキミカキグサ		VU		II			嘉穂町	9	
モウセンゴケ				II			金田町、嘉穂町	9	
モミジハグマ				IB			添田町	9	
モリイバラ				II			香春町、添田町	9	
モロコシソウ				IA			香春町	9	
ヤガミスゲ				IB			遠賀川中流域	9、11	
ヤシャビシャク		VU		IA			添田町	9	
ヤシャブシ				IA			添田町	9	
ヤナギイボタ				IA			添田町	9	
ヤナギスブタ				IA			穂波町	9	
ヤマウツボ				IB			添田町	9	
ヤマシャクヤク		VU		IB			添田町	9	
ヤマタツナミソウ				IA			香春町	9	
ヤマブキショウマ				II			添田町	9	
ヤマホオズキ		EN		IA			香春町、田川市	9	
リンドウ				II			金田町、筑穂町	9	
ルイヨウボタン				IB			添田町	9	
ルリミノキ				準			嘉穂町	9	
レンゲツツジ				IB			添田町	9	
ロクオンソウ		EN					穂波川(穂波町)	11	
ワチガイソウ				II			添田町	9	

2) 遠賀川に生育する重要な動物種

遠賀川に生育する重要な動物は、次表の特定種一覧表に示すとおりである。特定種は哺乳類 12 種、両生・は虫類 11 種、鳥類 34 種、魚類 22 種、底生動物 14 種、昆虫類 148 種が確認されている。なお、表中の資料番号は、後掲の表 2-2-11 を参照されたい。

表 2-2-5 遠賀川で確認された哺乳類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
アナグマ				準			添田町	9	
カヤネズミ				危惧			遠賀川中流域～上流域、彦山川	9、11	
コキクガシラコウモリ				準			田川市	9	
スミスネズミ				準			添田町	9	
テングコウモリ		VU		不足			添田町	9	
ニホンザル				準			香春町	9	
ハタネズミ				準			遠賀川中流域	9、11	
ホンドモモンガ				不足			添田町	9	
ムササビ				準			筑穂町、添田町	9	
ヤマコウモリ		VU		不足			添田町	9	
ヤマネ		NT		危惧			添田町	9	
ユビナガコウモリ				準			田川市	9	

表 2-2-6 遠賀川で確認されたは虫類・両生類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
オオサンショウウオ		NT		IA		○	遠賀川上流域、中元寺川、金辺川	2	赤村のみが自然分布と考えられている
カシミサンショウウオ				II		○	遠賀川水系	2	
ジムグリ				準			遠賀川中流域、彦山川	11	
シロマダラ				準			中間市	9	
トノサマガエル				IB			彦山川、飯塚市、山田市、筑穂町、稲築町	9、11	
ニホンアカガエル				II			頼田町、庄内町、宮田町、筑穂町、稲築町、川崎町	9	
ニホンイシガメ				準			飯塚市、稲築町	9	
ニホンスッポン		DD		準			小竹町	9	
ニホンヒキガエル				II			飯塚市	9	
ブチサンショウウオ						○	遠賀川水系上流域、犬鳴川	2	
ヤマアカガエル				II			田川市、飯塚市、山田市、筑穂町、川崎町	9	

表 2-2-7 遠賀川で確認された鳥類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
アオバズク				II			金田町、川崎町、英彦山系	9	
アカショウビン				II			小竹町、英彦山系	9	
イカルチドリ				準			遠賀川上流域、彦山川、犬鳴川	9、11	
ウズラ		DD		不足			遠賀川中流域	9、11	
オオジシギ		NT		不足			遠賀川中流域	9、11	
オオタカ		VU		準			彦山川	9、11	
オオヨシキリ				II			遠賀川中流域～上流域、彦山川	9、11	
オオルリ				準			宮田町、山田市、英彦山系	9	
オシドリ				準			潁田町、川崎町、英彦山系	9	
カワウ					普通		遠賀川、彦山川	12	
カササギ				依存			中間市	9	
カンムリカイツブリ				II			遠賀川汽水域～下流域	9、11	
キビタキ				準			宮田町、山田市	9	
クマタカ		EN		IA			英彦山系	9	
ケリ				準			犬鳴川(若宮町)	9、11	
コノハズク				IB			英彦山系	9	
コマドリ				II			嘉穂町、英彦山系	9	
サシバ				準			遠賀川中流域、英彦山系	9、11	
サンコウチョウ				II			彦山川、英彦山系	9	
サンショウクイ		VU		II			山田市、川崎町	9	
タカブシギ				II			遠賀川上流域	9、11	
タマシギ				II			金田町、潁田町、大任町	9	
チュウサギ		NT		不足	希少		遠賀川中流域、犬鳴川	9、11、12	
ツバメチドリ		VU		II			遠賀川中流域	9、11	
ハイタカ		NT		準			遠賀川、彦山川、英彦山系	9、11	
ハチクマ		NT		準			遠賀川中流域、犬鳴川、英彦山系	9、11	
ハヤブサ		VU		II			遠賀川汽水域、中流域	9、11	
ヒクイナ				準			遠賀川中流域～上流域、彦山川	9、11	
ヒシクイ		VU		準			遠賀町	9	
ブッポウソウ		VU		IB			英彦山系	9	
ミサゴ		NT		準			遠賀川汽水域～中流域、彦山川	9、11	
ヤイロチョウ		EN		IB			英彦山系	9	
ヤマドリ				II			山田市、英彦山系	9	
ヨタカ				II			英彦山系	9	

表 2-2-8 遠賀川で確認された魚類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
アカザ		VU		IB	危急		彦山川	9、11	
アユ				不明			遠賀川下流域、彦 山川、八木山川	9、11	
インドジョウ		EN		IA	危急		山口川	9	
イトヨ(降海型)				準			遠賀川	9	
ウナギ				準			遠賀川中流域、彦 山川	9、11	
オヤニラミ		NT		準	希少		彦山川	9、11	
カジカ(陸封型)				II			大分川	9	
カゼトゲタナゴ		VU		II	希少		遠賀川中流域、江川	9、11	
カネヒラ(県・準)				準			遠賀川下流域、江川	9、11	
カワアナゴ				準			遠賀川	9	
ガンテンイシヨウジ				不足			遠賀川	9	
ギギ				IB			遠賀川中流域、彦 山川、八木山川	9、11	
サケ				不明			遠賀川	6	
シロウオ		NT		準			遠賀川	9	
スジシマドジョウ小型種点小型		EN		IB			遠賀川中流域～上 流域、内住川	9、11	
スナヤツメ		VU		IB			彦山川、山口川	9、11	
トビハゼ				IB			西川	9	
ニッポンバラタナゴ		CR		II	危惧		鹿毛馬川、江川	9	絶滅危惧I類 (環境庁), 絶 滅危惧種(水 産庁), CR (IUCN)
バラタナゴ属の一種		CR		II			遠賀川中流域	9、11	
メダカ		VU		準			遠賀川中流～上流 域、江川、黒川、笹 尾川、倉久川	9、11	
ヤマメ				不明			遠賀川	6	
ヤリタナゴ				準			遠賀川下流域、江 川、笹尾川	9、11	

表 2-2-9 遠賀川で確認された底生動物の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
オオクリイロカワザンショウ				I			西川	9	絶滅寸前 (WWFJ)
カワザンショウガイ				準			西川	9	
クリイロカワザンショウ				準			遠賀川下流、西川	9	
クルマヒラマキガイ (レンズヒラマキガイ)		VU		I	希少		遠賀川中流域	9、11	
トゲナシヌマエビ				不足			彦山川	9、11	
トンガリササノハガイ		NT		II	希少		遠賀川中流域	9、11	
ナガオカモノアラガイ		NT					遠賀川中流～上流 域、彦山川	11	
ハマガニ				準			遠賀川汽水域	9、11	
ヒラマキミズマイマイ				I			彦山川	9、11	
ベンケイガニ				危惧			遠賀川汽水域	9、11	
マゴコロガイ				I			遠賀川汽水域	9、11	
マルタニシ		NT		準			遠賀川中流域	9、11	
ムシヤドリカワザンショウ				I				9	危険(WWFJ)
モノアラガイ		NT					遠賀川中流～上流 域、彦山川	11	

表 2-2-10(1) 遠賀川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
アイヌハンミョウ				I			英彦山系	9	
アイノドリシジミ				準			英彦山系	9	
アオアシナガハナムグリ						B	英彦山系	2	
アオクチブトカミキリ				準			英彦山系	9	
アオヘリホソゴミムシ				準			遠賀川中流域	11	
アオヤンマ				不足		B	英彦山系	2	
アカシジミ				II		B	赤池町、宮田町、英彦山系	2	
アカジマトラカミキリ						B・C	英彦山系	2	
アカマダラコガネ				I			宮田町、英彦山系	9	
アトコブゴミムシダマシ				I			英彦山系	9	
ウスイロアカネハムシ				II			嘉徳町、英彦山系	9	
ウラキンシジミ				準		B	英彦山系、若宮町、赤池町	2	
ウラギンスジヒョウモン				II			田川市、香春町、英彦山系	9	
ウラギンヒョウモン				II			彦山川、香春町、英彦山系	11	
ウラゴマダラシジミ				II		B	英彦山系	2	
ウラナミジャノメ		VU		II			香春町、英彦山系	9	
ウンモンテントウ				II			英彦山系	9	
エサキクチキゴキブリ		DD		準			英彦山系	9	
エゾスジグロシロチョウ				II			嘉徳町	9	
エゾゼミ						B・G	英彦山系、直方市	2	
エゾハルゼミ						B・G	英彦山系	2	
エゾベニヒラタムシ				II			英彦山系	9	
エゾミドリシジミ				I		B	英彦山系	2	
エチゴハガタヨトウ				準			英彦山系	9	
オオウラギンヒョウモン		CR+EN		I		B	若宮町、香春町、英彦山系	2、9	
オオオバボタル				II			飯塚市	9	
オオカマキリモドキ				II		B	英彦山系	2、9	
オオキノコムシ				II			英彦山系	9	
オオキノコムシ				II			嘉徳町、英彦山系	9	
オオクシヒゲヒロウドムシ				II			英彦山系	9	
オオクワガタ		NT		II			英彦山系	8、9	
オオシロタシバ				準			英彦山系	9	
オオチャイロハナムグリ		NT		II		B	英彦山系	2、8、9	
オオチャバネセセリ				準			川崎町、香春町、英彦山系	9	
オオチャバネヨトウ				I		B・C	英彦山系、中間市	2	
オオツバメエダシャク						B・C	英彦山系	2	
オオトラフコガネ				II		B	英彦山系	2、9	
オオバボタル				II			英彦山系	9	
オオヒラタトックリゴミムシ				I			英彦山系	9	
オオマドボタル				II			宮田町、飯塚市、香春町、英彦山系	9	
オオミドリシジミ				準			英彦山系	9	
オオムラサキ		NT		II		指標	英彦山系、八幡西区、直方市、嘉徳町、山田市	2、8、9	
オオモンキゴミムシダマシ				I			英彦山系	9	
オキナワリリチラシ						B・C	英彦山系、直方市	2	
オナガアゲハ				準			田川市、香春町	9	
オニクワガタ						B	英彦山系、赤池町	2	
オニホソコバネカミキリ				I			英彦山系	9	
オビレカミキリ						B・C	英彦山系	2	

表 2-2-10(2) 遠賀川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
カエデノヘリグロハナカミキリ						B・C	英彦山系	2	
カラスシジミ				準			英彦山系	9	
キイロヤマトンボ		VU					遠賀川中流域	11	
キマダラモドキ		NT		I		B	英彦山系	2	
キュウシュウエゾゼミ						B・G	英彦山系	2	
キリシマミドリシジミ						B	英彦山系、嘉穂町、直方市、若宮町、赤池町	2	
ギンイチモンジセセリ		NT		絶滅			英彦山系	8、9	
キンイロネクイハムシ				絶滅			嘉穂町	9	
クシヒゲビロウドムシ				II			英彦山系	9	
クスベニカミキリ				II			宮田町、飯塚市、金田町、香春町、彦山山系	9	
クモガタヒョウモン				II			香春町、英彦山系	9	
クロアカネハムシ				II			英彦山系	9	
クロアシヒゲナガヒラタミツギリゾウムシ				不足			英彦山系	9	
クロゲンゴロウ				II			英彦山系	9	
クロシジミ		CR+EN		I			英彦山系	8、9	
クロセセリ						C	英彦山系、若宮町、赤池町	2	
クロボシヒラタシデムシ				II			英彦山系	9	
ゲンゴロウ		NT		I			田川市	9	
ゲンジボタル						指標	嘉穂町、若宮町、直方町	2	
コツバメ				II			田川市、香春町、英彦山系	9	
コムラサキ				II			遠賀川中流域、彦山川	9、11	
コリクワガタ						B	英彦山系、赤池町	2	
サツマスズメ						B・C	中間市	2	
シコクヒメハナカミキリ						B・C	英彦山系	2	
シマゲンゴロウ				II			彦山川、英彦山系	9、11	
ジャノメチョウ				II			田川市、飯塚市、香春町、英彦山系	9	
シルビアシジミ				I			英彦山系	9	
シロフクロノメイガ						B	英彦山系	2	
スギタルリシジミ				I		B・G	英彦山系	2	
スジゲンゴロウ		CR+EN		I			田川市、英彦山系	8、9	
セプトシロホシクロヨトウ						A	英彦山系、赤池町	2	
セマルケシマガソコガネ				II			遠賀川中流域、彦山川	9、11	
ソボリンゴカミキリ						B	英彦山系	2	
ダイコクコガネ		NT		I			英彦山系	8、9	
タイワンウチワヤンマ						C	英彦山系	2	
タカラチビオオキノコムシ				不足			英彦山系	9	
タカハシトゲゾウムシ				不足			英彦山系	9	
チビハナカミキリ						B	英彦山系	2	
チャイロカメムシ				準			遠賀川中流域	9、11	
チャオビリンガ						A	英彦山系	2	
ツノコガネ				II			英彦山系	9	
ツマグロキチョウ		VU		II			彦山川、英彦山系	9、11	
トガリバホソコバネカミキリ						B	英彦山系	2	
トゲオイトンボ						B・G	英彦山系、若宮町、赤池町	2	
トモンチビオオキノコムシ				不足			英彦山系	9	
トラハナムグリ				I			宮田町	9	
トラフカミキリ				II			宮田町、香春町	9	

表 2-2-10(3) 遠賀川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
ナゴヤサナエ						B・G	金田町、田川市	2	
ニシキキンカメムシ				準		B	英彦山系	2、9	
ニセコルリクワガタ				準			英彦山系	9	
ハイイロボクトウ				II			遠賀川下流域	9、11	
ハッチョウトンボ						指標	田川市	2	
ハマダラハルカ		DD				B	英彦山系、若宮町	2	
ハルゼミ				準		指標	英彦山系	2	
ヒオドシチョウ		VU		準			田川市、飯塚市、香春町、英彦山系	9	
ヒカゲチョウ						C・G	中間市、英彦山系	2	
ヒゲブトハナカミキリ						B	英彦山系	2	
ヒコサンアカヨトウ				準			英彦山系	9	
ヒコサンオオズナゴミムシ				不足			英彦山系	9	
ヒコサンクシヒゲカゲロウ				不足			英彦山系	9	
ヒコサンクロボシハムシ				不足			英彦山系	9	
ヒコサンセスジゲンゴロウ				I			英彦山系	9	
ヒコサンヌレチゴミムシ				準			英彦山系	9	
ヒコサンヒゲナガコバネカミキリ				準			英彦山系	9	
ヒコサンヒメハナカミキリ						B	英彦山系	2	
ヒコサンマルクビゴミムシ				準			英彦山系	9	
ヒメキマダラセセリ				II			田川市、山田市、川崎町、大任町、香春町	9	
ヒメキマダラヒカゲ						B	英彦山系	2	
ヒメハルゼミ						B・G	英彦山系	2	
ヒメヒロウドカミキリ		DD		II		B	英彦山系、直方市、嘉穂町	2、9	
ヒメボタル						B・G	英彦山系	2	
フジミドリシジミ				準		B	英彦山系、筑穂町、嘉穂町	2、9	
フタコブルリハナカミキリ				II		B	英彦山系、八幡西区、若宮町、赤池町	2、9	
フトネクイハムシ				I			遠賀川上流域	9、11	
ベッコウトンボ		CR+EN		I			金田町、小竹町、飯塚市	9	
ヘリグロチャバネセセリ				準			英彦山系	9	
ミカドアゲハ						B	中間市、赤池町	2	
ミズイロオナガシジミ				II			英彦山系	9	
ミスジチョウ				準			英彦山系	9	
ミドリカミキリ				II			宮田町、飯塚市、香春町、英彦山系	9	
ミナミコルリクワガタ				準			英彦山系	9	
ミヤマカラスシジミ				I		B	英彦山系	2	
ミヤマキマダラセセリ				II			田川市	9	
ミヤマセセリ				II			彦山川、香春町、英彦山系	9、11	
ミヤマチャバネセセリ				II			香春町、英彦山系	9	
ムカシアリ						A	英彦山系	2	
ムカシトンボ				準		指標	英彦山系、八幡西区、若宮町	2	
ムカシヤンマ						指標	英彦山系、赤池町	2	
ムナコブハナカミキリ				準		B	英彦山系	2、9	

表 2-2-10(4) 遠賀川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	貴重種区分						所在地	資料 番号	備考
	天	環	群落	県	水	自			
ムモンシリグロオオキノコムシ				不足			英彦山系	9	
ムモンシリグロオオキノコムシ				不足			嘉穂町	9	
メスアカミドリシジミ				準		B	英彦山系	2	
メスグロヒョウモン				II			田川市、香春町、英彦山系	9	
モリヤママドガ						B・C	中間市	2	
ヤノトラカミキリ						B	英彦山系	2	
ヨツボシカミキリ				I			飯塚市、英彦山系	9	
ヨツボシトンボ						C・G	川崎町、田川市	2	
ルーミスシジミ		VU		I		B・E	赤池町	2	
ルリクワガタ				準			英彦山系	9	
ルリヒラタムシ				II			英彦山系	9	

3) 区域ごとの主な環境要素と河川環境を特徴づける種及び集団分布値、繁殖地等

表 2-2-11 区域ごとの主な環境要素と河川環境を特徴づける種及び集団分布地、繁殖地等

区域	主な環境の構成要素	河川環境を特徴づける種	集団分布地、 繁殖(産卵)地、ねぐら
下流域	<ul style="list-style-type: none"> ●水域 ・湛水域、干潟 ・ワンド、たまり ●陸域 ・砂浜、草地 ・河畔林、竹林 	<p>植 物:<u>ハマツナ群落</u>、<u>ヨシ</u>、<u>アシ</u>、<u>チガヤ群落</u>、<u>ハマサジ</u>、<u>ハマボウ</u>、<u>カシヤ</u>、<u>イソマ</u>、<u>オシシ</u>、<u>タノシ</u>、<u>シコウジュ</u>、<u>ヤガミ</u></p> <p>哺乳類:<u>ハクネズ</u>、<u>イサ</u>の一種</p> <p>鳥 類:<u>カウ</u>、<u>ウネ</u>、<u>ワカ</u>、<u>シゴ</u>、<u>カムカヅリ</u>、<u>ハヤブサ</u>、<u>カモ</u></p> <p>両生虫:<u>スマガエル</u></p> <p>魚 類:<u>ヒイギ</u>、<u>アユ</u>、<u>カサガ</u>、<u>ヤチゴ</u>、<u>ワカ</u></p> <p>昆虫類:<u>ハイボク</u></p> <p>底生動物:<u>マゴロガイ</u>、<u>ベンケイガニ</u>、<u>ハマニ</u></p>	
中流域	<ul style="list-style-type: none"> ●水域 ・瀬、淵 ・ワンド、たまり ●陸域 ・草地 ・河畔林、樹林地、竹林 	<p>植 物:<u>アカサキ</u>、<u>ヨシ</u>、<u>オギ</u>、<u>ツルヨシ</u>、<u>オオヤナギ</u>、<u>ヒロチダ</u>、<u>カシヤ</u>、<u>カキツバ</u>、<u>アゼホギ</u>、<u>リ</u>、<u>イソマ</u>、<u>オシシ</u>、<u>タノシ</u>、<u>ヒコガイ</u>、<u>ゼキシ</u>、<u>ホハオグルマ</u>、<u>シコウジュ</u>、<u>ヤガミ</u>、<u>ゲ</u>、<u>ウズ</u>、<u>アマガ</u></p> <p>哺乳類:<u>ハクネズ</u>、<u>カネズ</u>、<u>イサ</u>属の一種、<u>テン</u>、<u>アブラコ</u>、<u>コバモ</u></p> <p>鳥 類:<u>カモ</u>、<u>カウ</u>、<u>ハイロチュウ</u>、<u>ヒトリ</u>、<u>カサガ</u>、<u>ヒバリ</u>、<u>シゴ</u>、<u>ツバメ</u>、<u>オオジギ</u>、<u>ウズ</u>、<u>サシバ</u>、<u>チュウサギ</u>、<u>ハヤブサ</u>、<u>ヒク</u>、<u>オオシ</u>、<u>ハチマ</u>、<u>ハヤカ</u></p> <p>両生虫:<u>スマガエル</u>、<u>ジム</u></p> <p>魚 類:<u>アユ</u>、<u>ウナギ</u>、<u>バラタナ</u>属、<u>カビ</u>、<u>ギギ</u>、<u>スジ</u>、<u>カサガ</u>、<u>ウネ</u>、<u>オウ</u>、<u>カマ</u>、<u>ギン</u>、<u>カサガ</u>、<u>ワカ</u></p> <p>昆虫類:<u>ムササギ</u>、<u>アホ</u>、<u>カミ</u>、<u>セ</u>、<u>マル</u>、<u>キ</u></p> <p>底生動物:<u>マルタ</u>、<u>モ</u>、<u>ナガ</u>、<u>ク</u></p>	<p>鳥 類:<u>ツグミ</u>、<u>ムク</u>、<u>スズメ</u>のねぐら</p> <p>オオシの繁殖地</p> <p>ツグミ、オオシ、カサガ、ムク、ツグミ、タケリ、イワツバメ、ハシボ、ガラスの採卵地</p> <p>ムク、コサギ、カサガの休息地</p> <p>カウ、スズメの集団分布地</p>
上流域	<ul style="list-style-type: none"> ●水域 ・瀬 ・ワンド、たまり 	<p>植 物:<u>ホサキ</u>、<u>アサ</u>、<u>ヨシ</u>、<u>ツルヨシ</u>、<u>オギ</u>、<u>カシヤ</u>、<u>オシシ</u>、<u>ホハオグルマ</u>、<u>シコウジュ</u>、<u>オオヤナギ</u>群落</p> <p>哺乳類:<u>コバモ</u></p> <p>鳥 類:<u>カモ</u>、<u>ツバメ</u>、<u>カサガ</u>、<u>ヒク</u>、<u>ヒク</u></p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ●陸域 ・草地 ・河畔林、竹林 	<p><u>オヨシギ</u>、<u>ホシロ</u>、<u>カワレバ</u></p> <p>両出は虫:<u>ウガエル</u>、<u>ヌマガエル</u></p> <p>魚 類:<u>スシマシロカ</u><u>小型種点小型</u>、<u>ウカ</u></p> <p>昆虫類:<u>キロヤマトボ</u>、<u>フネイムシ</u></p> <p>底生動物:<u>ナガオカモリアガイ</u>、<u>モリアガイ</u></p>	
彦山川流域	<ul style="list-style-type: none"> ●水域 ・瀬、淵 ・ワンド、たまり ●陸域 ・草地 ・河畔林、竹林、樹林地 	<p>植 物:<u>アガキクサ</u>、<u>ツルヨシ</u>、<u>デンジツ</u>、<u>コイガラシ</u>、<u>イ</u> <u>スギ</u>、<u>シオ</u>、<u>シロダマ</u>、<u>カヂシヤ</u>、<u>コイ</u> <u>ガラシ</u>、<u>イヌギ</u>、<u>オオシロ</u>、<u>スズツバ</u>、<u>ナ</u> <u>ガミツルキケマン</u>、<u>アラカ</u>群落</p> <p>哺乳類:<u>ウヘモグラ</u>、<u>イナ</u>属の一種、<u>カネズミ</u></p> <p>鳥 類:<u>カウ</u>、<u>カモ</u>、<u>イカルトリ</u>、<u>ケリ</u>、<u>シゴ</u>、<u>オオ</u> <u>カ</u>、<u>オヨシギ</u>、<u>ツバメ</u>、<u>ハヤカ</u>、<u>ヒク</u>、<u>ヒ</u> <u>ヨリ</u>、<u>ホシロ</u>、<u>ヤマセ</u>、<u>サコチ</u></p> <p>両出は虫:<u>カジカエル</u>、<u>イ</u>、<u>トサマガエル</u>、<u>ヌマガエル</u>、<u>ジム</u></p> <p>魚 類:<u>オイカ</u>、<u>ハス</u>、<u>カムツ B 型</u>、<u>ギギ</u>、<u>アザ</u>、<u>ウ</u> <u>ギ</u>、<u>スヤツ</u>、<u>オヤ</u>、<u>アユ</u></p> <p>昆虫類:<u>シマゲンゴロウ</u>、<u>ゲンシボタル</u>、<u>セマルシマゴ</u> <u>ガネ</u>、<u>ウギンヒョウモン</u>、<u>ツマグロキチョウ</u>、<u>コム</u> <u>ラギ</u>、<u>シヤセ</u></p> <p>底生動物:<u>モリアガイ</u>、<u>ナガオカモリアガイ</u>、<u>ヒラキミズ</u> <u>マイ</u>、<u>トゲナシヌエビ</u></p>	

※下線は特定種を示す。

4) 文献一覧表

表 2-2-12 動植物関係収集資料一覧表

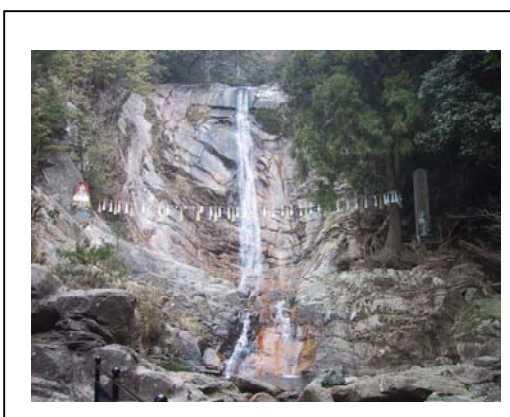
資料番号	出典資料及び選定基準
1	日本の天然記念物 1995年3月 講談社
2	第2回自然環境保全基礎調査 福岡県動植物分布図 昭和56年 環境庁
3	第2回自然環境保全基礎調査 福岡県植生調査報告書 1979年 環境庁
4	第3回自然環境保全基礎調査 福岡県自然環境情報図 平成元年 環境庁
5	第3回自然環境保全基礎調査 福岡県植生報告書 1988年 環境庁
6	第4回自然環境保全基礎調査 福岡県自然環境情報図 平成7年 環境庁
7	第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木 九州・沖縄版 1991年 環境庁
8	環境庁レッドリスト（ホームページ 公開種）
9	福岡県版レッドデータブック 福岡県の希少野生生物（ホームページ 公開種）
10	日本の重要な植物群落 九州版 昭和63年8月 環境庁
11	遠賀川河川環境マップ 平成15年3月 国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所 遠賀川中流地区河川環境調査及び環境保全対策検討業務報告書 平成14年8月 国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所
12	日本の希少な野生水生生物に関するデータブック 2000年3月 水産庁
13	植物群落レッドデータ・ブック 1996年 (財)日本自然保護協会(NACS-J) (財)世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)

2-3. 特徴的な河川景観や文化財等

(1) 観光及び景勝地

遠賀川流域には、すぐれた自然景観が存在し、国や県、市町においてそれらの保全が図られているとともに、観光客を誘致する資源となっている。

上流部から中流部にかけては耶馬日田英彦山国定公園、北九州国定公園に指定されており、深倉峡などの渓谷や滝など、河川に関わりの深い山岳景勝地があり、四季を通して行楽に訪れる人々で賑わいを見せている。



白糸の滝

(福岡県赤池町)

福智山・上野峡にある滝のひとつで、高さ 25 メートル、幅 3 メートルの大滝。水しぶきをあげて一気に落ちる美しさは見飽きることがない。周辺は四季折々の景観が楽しめる。このほかにも菅生の滝、大塔の滝、七重の滝などがある。

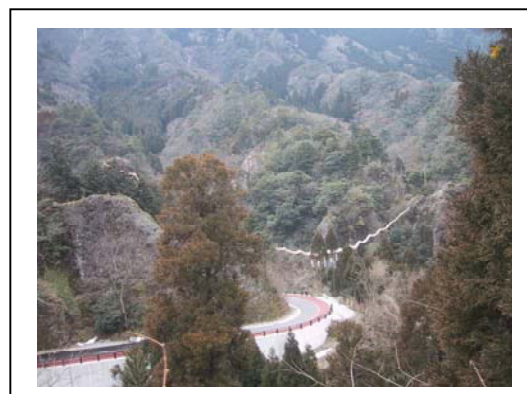
写真：遠賀川河川事務所

深倉峡

(福岡県添田町)

英彦山から西南にあたる障子ヶ岳の西南麓の渓谷。耶馬溪とよく似た景勝地で、四季の景に恵まれている。中央が女岩、男魂岩と女岩には数十メートルのしめ縄がある。深倉峡にはこのような奇石が林立している。

写真：遠賀川河川事務所





香春岳

(福岡県香春町)

福智山山系の南端に位置し、南側から一ノ岳、二ノ岳、三ノ岳の三つの急峻な峰からなるが、一ノ岳は山頂から3分の1ほどを鋭利な刃物で切り取ったような形で、むき出しの石灰の岩肌が印象的な山。

写真：遠賀川河川事務所

岩屋鍾乳洞

(福岡県田川市)

香春岳の石灰岩帯の一部をなしている地域にある鍾乳洞で、古生代の石灰岩で形成されている。この地域一帯には数個の鍾乳洞があるが、その内水路及び洞窟が複雑で鍾乳石洞の最も発達しているのがこの岩屋鍾乳洞である。

写真：遠賀川河川事務所

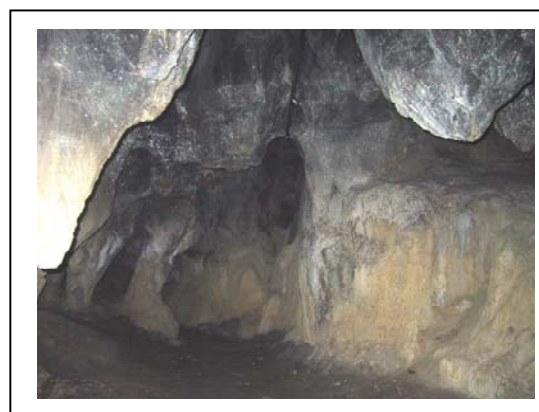


表 2-3-1(1) 遠賀川流域内のすぐれた自然景観

自然景観資源名	名称	県	関係市町村
特徴的な稜線	大日ヶ岳西方山稜	福岡県	添田町
カルスト地形	香春岳	福岡県	香春町
	岩屋	福岡県	田川市
鍾乳洞	第3鍾乳洞	福岡県	田川市
	第2鍾乳洞	福岡県	田川市
	岩屋鍾乳洞宮ノ穴	福岡県	田川市
岩脈	英彦山大岩脈	福岡県	添田町
	黒岩山山稜部	福岡県	添田町
峡谷・溪谷	竜門峡、多門峡	福岡県	添田町
	深倉峡	福岡県	添田町
滝	白糸の滝	福岡県	赤池町

出典：第3回自然環境保全基礎調査 福岡県自然環境情報図より

表 2-3-1(2) 遠賀川流域内のすぐれた自然景観（名選・他）

名称	所在地	概要
水源の森百選 福智山水原林	福岡県：直方市	尺岳から福智山に至る福智山系の北西部、福智川の源流にあり、農業用水を供給している。比較的丘陵な地形で変化に富んだ山地。浸食谷が発達し、滝や転び石が多く、天然のアカガシ林やクマザサ群落が残る。

出典：林野庁ホームページより

(2)文化財

遠賀川流域には歴史的に重要な文化財、史跡が多く、下表に示すとおり国指定で24件、県指定で86件の文化財がある。

表 2-3-2(1) 遠賀川流域内文化財一覧表(国指定)

番号	種別	名 称	所 在 地	指定年月日
1	重工	古瀬戸飴釉文瓶	飯塚市	S3.2.7
2	重考	立岩遺跡堀田甕棺群出土品	飯塚市	T13.12.9
3	天	鎮西村のカツラ	飯塚市	S16.8.1
4	重工	太刀	田川市	S16.7.3
5	重彫	木造十一面観音像	鞍手町	M37.2.18
6	重彫	木造不動明王及二童子像	鞍手町	M37.2.18
7	史	古月横穴	鞍手町	S7.10.19 S61.5.26
8	史	竹原古墳	若宮町	S33.2.23
9	特史	王塚古墳	桂川町	S12.6.15 S27.3.29 S52.7.2
10	重工	華文刺繍陣羽織	嘉穂町	S35.6.9
11	特天	古処山ツゲ原始林	嘉穂町	S27.3.29
12	史	大分廃寺塔跡	筑穂町	S16.12.13
13	史	鹿毛馬神籠石	穎田町	S20.2.22
14	重建	英彦山神社奉幣殿	添田町	S40.5.27
15	重建	中島家住宅	添田町	S52.1.28
16	重建	英彦山神社銅鳥居	添田町	S14.10.25
17	重工	修験板笈	添田町	S34.6.27
18	重工	彦山三所権現御正体	添田町	H5.6.10
19	重書	仁王般若経上下	添田町	H2.6.29
20	重考	福岡県英彦山経塚出土品	添田町	S63.6.6
21	名	旧亀石坊庭園	添田町	S3.2.7
22	天	英彦山の鬼スギ	添田町	T13.12.9
23	天	鷹巣山	添田町	S16.8.1
24	名	藤江氏魚樂園	川崎町	S53.9.18

(凡例) 重建:国指定重要文化財(建造物)、重彫:国指定重要文化財(彫刻)、重工:国指定重要文化財(工芸)、重書:国指定重要文化財(書籍)、重考:国指定重要文化財(考古資料)、特史:国指定特別史跡、史:国指定史跡、名:国指定名勝、特天:国指定特別天然記念物、天:国指定天然記念物

古処山ツゲ原生林

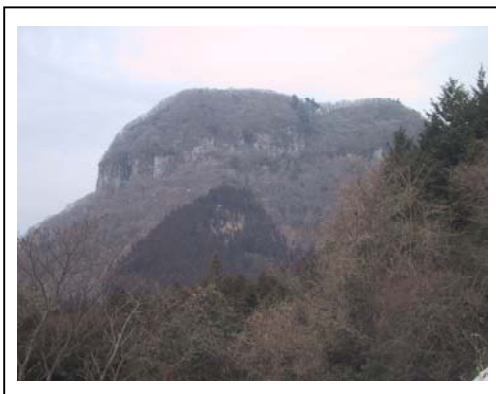
【国指定特別天然記念物】

(福岡県嘉穂町)

古処山は標高 862m の山で、オオヒメツゲ、アサマツゲ、マルバツゲの 3 種を産するが大部分はオオヒメツゲである。オオヒメツゲの最大のもは高さ 12m、基部の幹囲 1.67m で樹齢 1000 年といわれている。ツゲ林の面積は 3ha あり、ほぼ純林状のところが多い。古処山は、ツゲ林のほか周囲の森林も九州の特色をなす原始林であるのでツゲ林を代表として指定されたものである。



写真：遠賀川河川事務所



鷹巣山

【国指定天然記念物】

(福岡県添田町)

鮮新世の溶岩台地が、長い間の風化・浸食を受けてできた山。南から一の岳、二の岳、三の岳と呼ばれる円錐形の山形を呈している。一の岳は標高 979m 山頂はテーブル状をなし、まわりに高さ 60m の絶壁をめぐらし、二の岳、三の岳がこれに並んでいる。

写真：遠賀川河川事務所

英彦山の鬼スギ

【国指定天然記念物】

(福岡県添田町)

英彦山南岳から材木岩をさらに 3km 下った谷間で、彦山川の最上流の水源に当たるところでそびえ立つ巨大なスギで、根回り約 14m、胸高幹囲 12.4m、樹高約 40m、樹齢 1200 年といわれる。

写真：遠賀川河川事務所



旧亀石坊庭園

【国指定名勝】

(福岡県添田町)

亀石坊というのは修験道盛んな時の坊の一つで、現在は雪舟荘の前庭のようになっている。広さ 699 m²で泉石草樹の配置巧妙を極めているので雪舟の作と伝えられている。

写真：遠賀川河川事務所

表 2-3-2(2) 遠賀川流域内文化財一覧表(県指定)

	種別	名称	所在地	指定年月日
1	県工	梵鐘	直方市	S34.3.31
2	県考	石製経筒	直方市	S36.1.14
3	県考	石柱梵字曼陀羅碑	直方市	S33.11.13
4	県考	建武の板碑	直方市	S33.11.13
5	県有民	植木の空也上人像	直方市	S37.4.19
6	県無民	多賀神社幸行事	直方市	S35.8.5 S51.4.24
7	県無民	直方日若踊	直方市	S33.10.29 S51.4.24
8	県無民	植木三申踊	直方市	S37.4.13 S51.4.24
9	県天	花の木堰の大公孫樹	直方市	S35.8.16
10	県天	多賀神社の黄玉樹	直方市	S35.8.16
11	県彫	木造薬師如来立像	飯塚市	S38.1.16
12	県考	元享二年在銘法橋琳弁石卒都婆	飯塚市	S38.1.16
13	県考	滑石刻真言	飯塚市	S38.1.16
14	県史	川島古墳	飯塚市	H4.9.2
15	県有民	木造狛犬、左右大臣像	田川市	S39.5.7
16	県無民	風治八幡神社川渡行事	田川市	S29.12.13 S51.4.24
17	県無民	春日神社岩戸神楽	田川市	H3.11.15
18	県無民	伊加利人形芝居	田川市	S27.9.13 S51.4.24
19	県史	セスドノ古墳	田川市	S46.11.16
20	県天	岩屋鍾乳洞	田川市	S31.10.13
21	県彫	木造白衣観音坐像	山田市	S45.5.2
22	県天	白馬山のバクチノキ	山田市	S57.4.1
23	県史	垣生羅漢百穴	中間市	S32.8.13
24	県史	中間唐戸の水門	中間市	S58.3.19
25	県書	金台寺時衆過去帳	芦屋町	S52.4.9
26	県考	銅製経筒	芦屋町	S35.4.12
27	県考	石造宝塔	芦屋町	S60.5.28
28	県有民	芦屋の空也上人像	芦屋町	S37.4.19
29	県有民	海雲寺の宝篋印塔	芦屋町	S37.2.20
30	県有民	輪蔵附経蔵	芦屋町	S38.1.16
31	県有民	千光院・寺中町関係資料	芦屋町	S55.3.1
32	県有民	ひらた船	芦屋町	S38.1.16
33	県無民	芦屋の八朔行事	芦屋町	S35.12.12 S51.4.24
34	県無民	はねそ	芦屋町	S35.12.21 S51.4.24

(凡例) 県建: 県指定有形文化財(建造物)、県絵: 県指定有形文化財(絵画)、県彫: 県指定有形文化財(彫刻)、県工: 県指定有形文化財(工芸)、県書: 県指定有形文化財(書籍)、
 県考: 県指定有形文化財(考古資料)、県有民: 県指定有形民族文化財、県無民: 県指定無形民族文化財、県史: 県指定史跡、県名: 県指定名勝、県天: 県指定天然記念物

表 2-3-2(3) 遠賀川流域内文化財一覧表(県指定)

	種別	名称	所在地	指定年月日
35	県史	山鹿貝塚	芦屋町	S52.4.9
36	県天	千光院大蘇鉄	芦屋町	S38.5.4
37	県天	夏井浜の浜木綿自生地	芦屋町	S35.4.12
38	県天	八剣神社の大イチョウ	水巻町	S52.4.9
39	県書	伊藤常足遺品	鞍手町	S35.8.16
40	県史	鎧塚古墳群	鞍手町	S47.4.15
41	県史	新延大塚古墳	鞍手町	S47.11.18
42	県史	古門窯跡	鞍手町	S48.4.19
43	県史	長谷寺火葬墓群	鞍手町	H4.9.2
44	県史	伊藤常足旧宅	鞍手町	H7.1.9
45	県彫	木造如来形坐像	宮田町	S57.4.1
46	県彫	木造十一面観音菩薩坐像	若宮町	H5.7.2
47	県工	梵鐘	若宮町	S32.8.13
48	県考	銅製経筒	若宮町	S32.8.13
49	県考	銅製経筒	若宮町	S32.8.13
50	県無民	土師の獅子舞	桂川町	S32.4.23 S51.4.24
51	県考	石造三重塔	稲築町	S34.3.31
52	県有民	山野の石造群	稲築町	S34.3.31
53	県無民	山野の森	稲築町	S33.10.29 S51.4.24
54	県史	鎌田原弥生墳墓群	嘉穂町	H7.1.9
55	県彫	木造聖観音立像	筑穂町	S46.6.15
56	県無民	大分の獅子舞	筑穂町	S29.11.13 S51.4.24
57	県天	大分八幡宮の大樟	筑穂町	S31.7.28
58	県考	五智如来板碑	庄内町	S33.11.13
59	県無民	綱分八幡宮神幸行事	庄内町	S35.8.5 S51.4.24
60	県史	清杞殿跡	香春町	S31.8.11
61	県天	神宮院の大銀杏	香春町	S31.8.11
62	県天	元光願寺の大樟	香春町	S32.8.11
63	県天	五徳ホルトの木	香春町	S32.8.11
64	県天	神宮院の石割枇杷	香春町	S31.8.11
65	県天	一ノ岳のバクチの木	香春町	S31.8.11
66	県建	板倉	添田町	S41.2.15
67	県彫	木造薬師如来坐像乃台座	添田町	S30.7.21
68	県工	梵鐘	添田町	S41.10.1
69	県有民	英彦山資料	添田町	S52.4.9
70	県有民	英彦山修験道関係文書	添田町	S53.3.25
71	県有民	高田家所蔵英彦山修験道文書	添田町	S53.3.25

(凡例) 県建: 県指定有形文化財(建造物)、県絵: 県指定有形文化財(絵画)、県彫: 県指定有形文化財(彫刻)、県工: 県指定有形文化財(工芸)、県書: 県指定有形文化財(書籍)、
 県考: 県指定有形文化財(考古資料)、県有民: 県指定有形民族文化財、県無民: 県指定無形民族文化財、県史: 県指定史跡、県名: 県指定名勝、県天: 県指定天然記念物

表 2-3-2(4) 遠賀川流域内文化財一覧表（県指定）

	種別	名称	所在地	指定年月日
72	県有民	英彦山楞嚴坊修験資料	添田町	H3.11.15
73	県天	英彦山のぶっぼうそう	添田町	S32.8.13
74	県天	泉蔵坊杉	添田町	S36.1.14
75	県天	諏訪神社のイチイガシ	添田町	S46.6.15
76	県天	英彦山のトチノキ(七葉樹)	添田町	S39.5.7
77	県天	英彦山の菩提樹	添田町	S39.5.7
78	県有民	輪蔵附経蔵	川崎町	S38.1.16
79	県無民	川崎の杖楽	川崎町	S51.4.24 S31.7.21
80	県天	光蓮寺の菩提樹	川崎町	S39.5.7
81	県彫	木造元晦禅師坐像	赤池町	S31.4.3
82	県書	紙本墨書興国寺文書	赤池町	S31.4.3
83	県考	銅製経筒	赤池町	S36.1.14
84	県史	伊方古墳	方城町	S46.11.16
85	県史	方城岩屋磨崖梵字曼荼羅	方城町	S52.4.9
86	県天	定禅寺の藤	方城町	S37.7.26

(凡例) 県建: 県指定有形文化財(建造物)、県絵: 県指定有形文化財(絵画)、県彫: 県指定有形文化財(彫刻)、県工: 県指定有形文化財(工芸)、県書: 県指定有形文化財(書籍)、県考: 県指定有形文化財(考古資料)、県有民: 県指定有形民族文化財、県無民: 県指定無形民族文化財、県史: 県指定史跡、県名: 県指定名勝、県天: 県指定天然記念物



八剣神社の大イチョウ
【県指定天然記念物】
 (福岡県水巻町)

水巻町の西部、遠賀川に面する場所に八剣神社があり、その境内にある。胸高周囲 10.1m、根回り 9.5m、樹高 26m のイチョウの木。根元部分は空洞になっており、枝には多数の乳根が付いている。

写真: 遠賀川河川事務所



垣生羅漢百穴

【県指定史跡】

(福岡県中間市)

垣生公園にある羅漢山を中心に、あちこちに散在する横穴群を総称して、垣生羅漢百穴と呼んでいる。古墳時代後期(約1400年前)のお墓で、多くの副葬品が出土し、歴史民俗資料館に展示されている。

写真：遠賀川河川事務所



伊藤常足旧宅

【県指定史跡】

(福岡県鞍手町)

江戸時代の国学者であり歴史学者であった伊藤常足翁の天明六(1786)年11月に建てられた木造ワラ葺き平屋建ての旧宅を復元したものの。江戸時代末期の建築術をうかがうことができる。

写真：遠賀川河川事務所



風治八幡神社川渡行事(川渡り神幸祭)

【県指定無形民族文化財】

(福岡県田川市)

福岡県の五大祭りのひとつ。400 有余年の歴史をもつ風治八幡神社の祭りで、田川っ子の男の夏まつりとして有名。2台の神輿と11台の山笠が、彦山川を練り渡る姿は勇壮華麗そのもの。この祭りが終わると近隣の農家は苗代づくりが始まる。

写真：遠賀川河川事務所

2 - 4 . 自然公園等の指定状況

遠賀川流域は、外周輪郭を形成する尾根筋周辺を中心として自然環境に恵まれており、2つの国定公園と3つの県立自然公園の指定を受けているとともに、以下のように鳥獣保護区も指定されている。

表2-4-1 自然公園一覧表

種別	公園名	流域内 関係市町村	指定年月日	備考
国定公園	〔耶馬日田英彦山国定公園〕	添田町	S25.7.29 S45.7.1 公園計画策定	多数の自然景観資源。
	〔北九州国定公園〕	八幡西区、直方市、赤池町	S47.10.16 公園計画策定 H8.10.2 公園計画再検討	多数の自然景観資源。
県立自然公園	〔大宰府県立自然公園〕	飯塚市、嘉穂町、若宮町	S25.5.13 S53.3.31 公園計画策定	多数の自然景観資源。
	〔筑豊県立自然公園〕	直方市、赤池町、方城町、香春町	S25.5.13 H8.5.17 公園計画策定	多数の自然景観資源。
	〔筑後川県立自然公園〕	嘉穂町	S25.5.13 H4.5.13 公園計画策定	多数の自然景観資源。

表2-4-2 規制状況一覧表

規制項目	関係法令	関係市町
鳥獣保護区	鳥獣保護及び狩猟に関する法律	八幡西区、飯塚市、田川市、山田市、添田町、川崎町、遠賀町、嘉穂町、赤池町

耶馬日田英彦山国定公園 (英彦山)

耶馬日田英彦山国定公園は福岡県、熊本県及び大分県の3県3市16町2村に跨る東西40km、南北50kmに及ぶ約8500haの地域が指定されている。

特に福岡県の東南部に位置し、九州六峯に数えられる英彦山・求菩提山は修験との関わりが深く、神社、自然窟、石仏、山伏の坊の跡など往時を偲ばせる建物や遺跡が随所に見られ、貴重な自然と文化遺産に恵まれている。

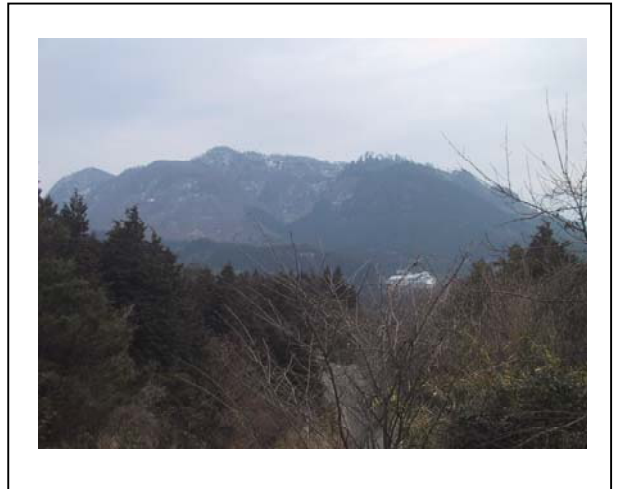


写真:遠賀川河川事務所



写真:遠賀川河川事務所

北九州国定公園 (福智山)

平尾台、福智山(901m)、皿倉山(626m)、風師山(362m)などの山地を区域にした公園で、その利用性に着目して設けられている。

福智山は地塁であるが、皿倉山、尺岳(613m)とともにハイキングに利用されており、麓を見おろす景観は雄大で四季を通じて楽しめる。

この地域の森林は好適な野外レクリエーションの場所を提供しており、北九州へと連なる都市環境を保全するグリーンベルトの役目も果たしている。

太宰府県立自然公園（大根地・砥石・三郡山系）

太宰府史跡を中心にした太宰府県立自然公園

背後地の大根地山（六五二メートル）、砥石山（八二六メートル）、三郡山（九三六メートル）からなる山系は、宝満山や仏頂山に隣接し、山様は多くが植林された杉・檜林であり、シイ、カシ、ナラなどのほかに三郡山頂付近にはブナやモミの巨木もあり、福岡にも近く登山者の姿が絶えることはない。



（三郡山系）

写真：遠賀川河川事務所

筑豊県立自然公園（福智・香春山系）

北九州国定公園に隣接する周辺と野生サルの生息地である香春岳及び行橋市海岸を含む地域。福智山地を経て石灰岩の奇岩峰を連ねる香春岳に至る山域は、石灰岩地に特有の好石灰植物、山地の林内や林縁の植物、草原の植物、湿生植物など、植物の宝庫である



（福智山系）

写真：遠賀川河川事務所

筑後川県立自然公園（馬見・屏・古処山系）

筑後川流域を中心に、高良山を含む耳納山系及びびツゲで知られる古処山を含む地域。古処山の山頂付近は晶質石灰岩の奇石・奇岩が露出したカルスト地形で、全国でも極めて珍しいツゲの原生林（国指定天然記念物）が約三ヘクタールにわたって広がり、九州自然歩道が整備されていて山頂からの眺望は抜群によい。



（古処山系）

写真：遠賀川河川事務所

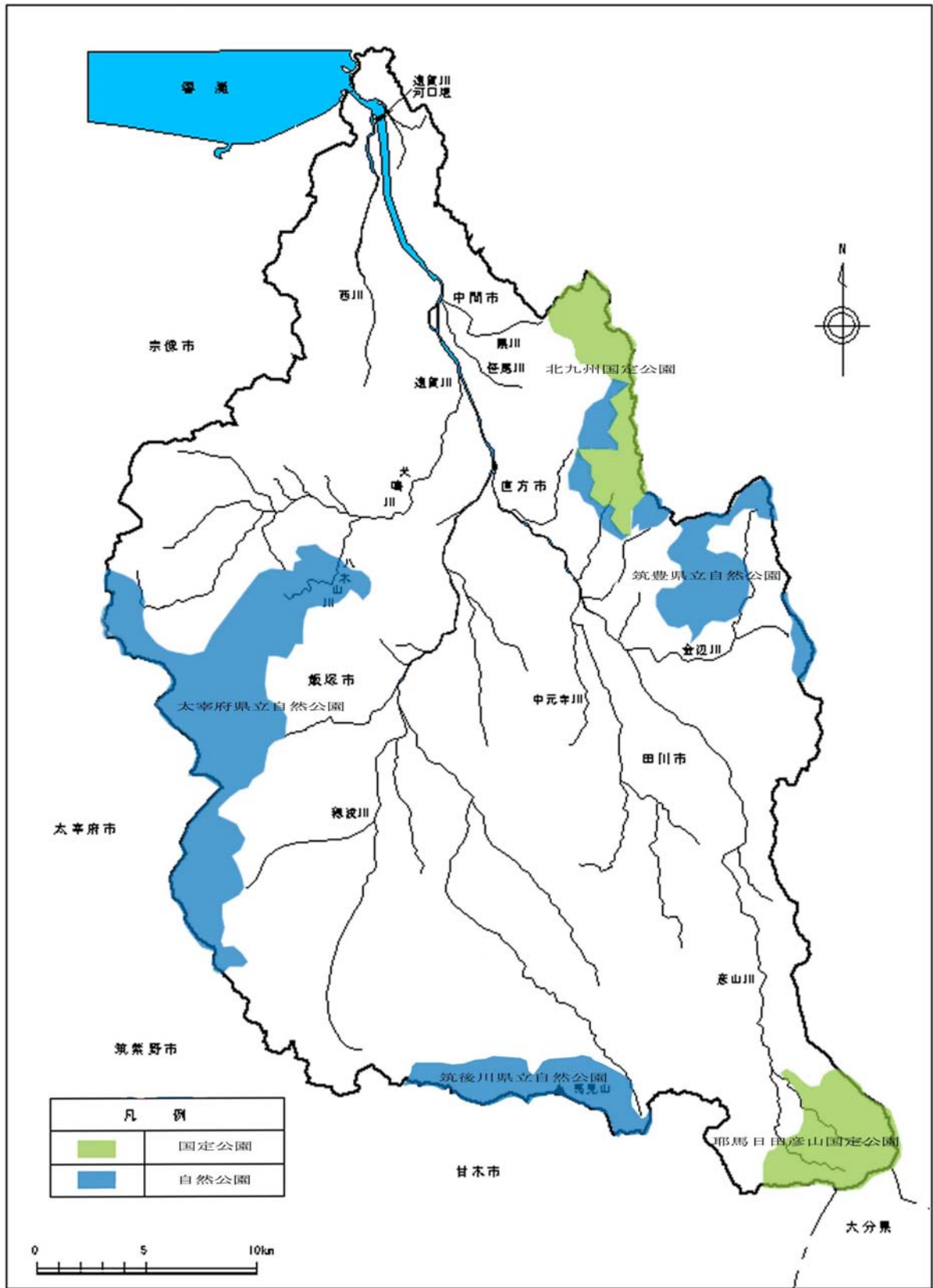


图 2-4-1 遠賀川流域内 自然公園位置図

